

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書

中能登町教育委員会

はじめに

令和2年度に引き続き、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、教育活動のみならず、社会活動全体が大きな影響を受けました。各種事業が中止や規模縮小実施等とならざるを得なかったものもありましたが、感染状況を見据えながら、実施の方向へ取り組みの工夫を重ねた1年でありました。

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、中能登町教育委員会が令和3年度に実施した事務事業の取り組みについて自らその状況について点検し評価を行い、金沢大学 松原 道男 教授からご意見をいただき、まとめたものです。

令和4年9月

中能登町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

—目 次—

I 事務の点検評価

1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進	1
(2) ふるさと学習の推進	7
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	8
(4) スポーツの振興	12
(5) 安全安心な学校づくり	13
(6) 特別支援教育の充実	15
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	16
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	18
(9) 中能登らしい学校教育の推進	20

2 学校施設・設備の整備充実

(1) 学校整備事業	22
------------	----

3 学校給食

(1) 学校給食	23
----------	----

4 文化財

(1) 文化財保護事業	24
(2) 文化財管理運営事業	26

5 生涯学習の振興

(1) 社会教育施設の充実	28
(2) 生涯学習講座の実践	31
(3) 公民館活動の充実	32
(4) 青少年の健全育成	36
(5) 国際交流事業の推進	38
(6) 図書館の充実	40

6	生涯スポーツの振興	
(1)	ジュニアスポーツクラブの充実	45
(2)	スポーツの振興	46
(3)	スポーツ施設の整備・充実	47
(4)	指導者の養成と選手の育成	49
※注釈		50
II	教育委員の主な活動	52
III	令和3年度決算（教育委員会）の概要	54

1. 教育のビジョン

中能登町では、平成28年7月に「中能登町教育大綱」を策定しました。

令和2年12月に改訂の「教育大綱」は、第2次中能登町総合計画にある「ふるさとふれあい 心を育む 中能登町」の基本理念とまちづくりを進める5つの将来像、国県等の教育行政の動向、社会情勢等の変化などを勘案した上で、本町の教育の指針として定めるものです。

○中能登町学校教育振興ビジョン

1. 基本理念

ふるさとに愛着と誇りをもち、将来を夢みて未来を切り拓く中能登っ子を育てる

2. 基本方針

- 1) 確かな学力と社会性を身につけ、大好きな自分づくりに励む中能登っ子の育成
- 2) 生命を尊重し、正義感と思いやりの心を持つ人間性豊かな中能登っ子の育成
- 3) 心身ともに健康で、自分らしさを発揮し、たくましい行動の出来る中能登っ子の育成

○中能登町社会教育振興ビジョン

1. 基本理念

霊峰石動山と古墳つらなる眉丈山の麓まほろばの地に抱かれ、ふるさと愛を持ち、健康で心豊かな文化の香り高い町を目指す

2. 基本方針

少子高齢化が進行する中、家庭・学校・地域との連携を強化し、町の歴史や文化を継承しつつ、生涯学習・生涯スポーツなど、心豊かに生涯にわたり学び合える環境づくり、また、人間性豊かな、活力ある社会基盤づくりを推進する。

I 事務の点検評価

1 学校教育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) 確かな学力を育む教育の推進</p>	<p>○保育士と小学校教員との確かな連携を図るため、保小連絡協議会の設置</p> <p>① 保小中連携推進委員会 第1回 4月28日 連携のねらい、年間計画 第2回 8月 (取組を紙面報告) 第3回 3月7日 連携事業報告、振り返り 連携の方向性の明確化</p> <p>② 保小連絡会 ・第1回(5月・6月) 保育園及び子ども園等の保育士による小学校の授業参観と情報交換 鳥屋小 6月7日、6月14日、6月24日 鹿島小 5月31日 鹿西小 5月17日 ・第2回(8月) 小学校教員による保育園及び子ども園訪問と情報交換 鳥屋小 8月2日、8月3日、8月5日 鹿島小 8月2日、8月3日、8月4日 鹿西小 8月4日 ・第3回(2月・3月) 小学校学級編成と最終情報交換 鳥屋小 2月18日、3月28日 鹿島小 3月10日 鹿西小 2月22日</p> <p><保小連携行事> ・年長児ようこそ集会(新1年生を迎える会)2月 新1年生を小学校へ招き、授業体験と現1年生による歓迎会は3小学校とも中止。 ただし、1年生が準備した発表をDVDに録画撮りしたものを、対象の各保育園へ配布。(鹿西小)</p> <p>③ 小中連絡会 2月24日、3月9日 3小学校と中学校で学級編成と最終情報交換、引き継ぎ等</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小中連携推進委員会において、各々のステージによる「目指す姿」が設定でき、共有できたことは良かった。 ・コロナ禍の影響から、保小連絡会は日程延期・再調整を経て開催することができた。 ・第1回保小連絡会では、児童への接し方について保育士等からアドバイスを受け、1年担任が指導に活かすことができた。第2回では、保育園等を訪問することにより、子どもの育ちの様子や保育士等の支援方法などがわかり入学準備に活かすことができた。 ・新入児向けの授業体験や迎える会の開催はできなかったが、新しい取り組みとしてDVDに録画する形で、1年生の発表の場の確保や新入児への紹介ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回保小連絡会の目的を参加者間で共通理解を図り、より効果的となるような運営が必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も年3回の保小連絡会を継続し、共通理解を図りながら、保小中の連携を推進し、つながりのある取り組みとしていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○学力向上を目指す校内研修と日常的な取組の充実 学力向上ロードマップに基づき、授業研究と学習基盤の確立を推進。小・中学校ともに、年間を通して、校内研修を実施。</p> <p>① 小中授業研究会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登教育事務所の要請訪問となる他校での授業研究会に参加。(年 20 回程) <p>② 各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登教育事務所からの要請訪問の全体研修(年 16 回程) ・各教員が年 1 回は研究授業を実施し、授業力向上をめざす。 ・学習規律を定め、各学級で毎月の取組確認 ・「話し方名人・聴き方名人」の提示と実施 ・ノート指導とモデル提示 ・帯タイム(基本・活用問題、条件作文等)の実施と推進 <p>③ 中能登中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シュクマネ」の実施(宿題マネジメントの略)週課題を曜日に捉われず、生徒自らが課題の量や内容をマネジメントし、計画を立て実行していく力を育む。 後半は必要に応じて(分析により分かった弱点を補うため)日々の課題を提示するなどして、ハイブリッド型の課題提示も行った。 ・若手教員早期育成プログラム 日常的 OJT※₁の充実のため、環境整備や時間の確保に取り組む。職員会議後の短時間、行事の前後など適宜工夫して行った。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校で行われる授業研究会への参加を通して、学習指導法や手立ての工夫などを研修し、自己の授業改善に活かすことができた。 <p>○小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を重ねることで、児童の意欲や考える姿勢が身についてきた。 ・指導案検討→授業研究→授業整理会(課題の明確化)→共通実践の一連の流れを確実に実践することで、学校全体の指導力向上へつながった。 ・学習規律の徹底により、落ち着いた学習環境が整えられた。 <p>○中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シュクマネ」の取り組みにより、生徒が主体的に学ぶことができた。 ・到達度調査及び県評価問題等において、確実に成果を上げてきている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題が自分で計画的に行えない児童生徒の指導・支援が必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究に ICT※₂活用を取り入れ、学校研究と GIGA スクール構想※₃を一体化し、効率的に推進していく。 ・取り組みの検証を踏まえ、修正しながら児童生徒の視点に立った取り組みになるよう全職員で共通理解を図り行う。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(1) 確かな学力を育む教育の推進</p>	<p>○小学校における外国語活動、外国語科の充実及び中学校における姉妹提携校との相互交流による外国語（英語）教育の拡充</p> <p>① A L T※⁴（外国語指導助手）の各小中学校への配置（計4名）</p> <p>② 各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A L Tと担任のチームによる外国語活動及び外国語科の授業実践 ・ 英語専門の教員の配置（鹿島小） ・ 英語検定の試み（希望者） <ul style="list-style-type: none"> 受検者 4年生 6人 5年生 14人 6年生 5人 ・ GTEC junior※⁵の受検（各小学校 6年） <ul style="list-style-type: none"> 英語学習による英語力を試す機会として実施 ・ A L Tを講師とした教員の校内指導を実施し、指導力向上を図った <p>③ 中能登中学校 姉妹提携校（台湾成功国民中学校）との交流（中止）</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の全学級の外国語の授業に A L Tが配置され、生きた英語を学ぶ環境が整っている。 ・ A L Tの常駐により、学校生活の中で日常的に英語に親しむ学習環境が整っており、学ぶ意欲につながっている。 ・ 英語専門の教員を中心とした英語教育の充実が図られ、英語検定を希望する児童が増えており、児童の意欲を高められた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語活動や外国語以外の授業における A L Tの参加の広がりが必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A L Tと触れ合う機会を増やすなど、A L Tの活用を充実させた授業展開を工夫する。 ・ 小中連携した、英語教育の実施が必要である。 ・ コロナ禍であり、姉妹提携校（台湾成功国民中学校）との交流が2年間中止となっているが、オンラインで交流するなど工夫して実施したい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																				
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○タブレット端末（ICT機器）を活用した授業の充実</p> <p>① GIGAスクール構想の推進 ・一人一台端末（タブレットを全児童生徒に配布）</p> <p>② 電子黒板の整備</p> <table border="1" data-bbox="351 504 869 694"> <thead> <tr> <th></th> <th>～R2</th> <th>R3</th> <th>今後予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td>20台</td> <td>3台</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td>9台</td> <td>5台</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td>4台</td> <td>3台</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td>14台</td> <td>5台</td> <td>3台</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ ICTサポーター 2名（毎月2回各校訪問） 教職員による、パソコン、タブレットの活用が図られるよう支援</p> <p>④ 授業等でのタブレット機器の活用 タブレット端末を活用した、個別学習及び協働学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末内のドリル学習を個々に応じた進度・内容で実施 ・授業中に児童生徒それぞれの考えを集約し、電子黒板で全員の意見を可視化して話し合いを実施 ・デジタル教科書を活用した授業の実施 ・タブレット持ち帰り日の設定 		～R2	R3	今後予定	鳥屋小学校	20台	3台	2台	鹿島小学校	9台	5台	3台	鹿西小学校	4台	3台	2台	中能登中学校	14台	5台	3台	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板の導入が計画的に進み、ICTサポーターの訪問支援もあり、児童生徒及び教職員にとって、学習環境が整備されている。 ・タブレット利用により、児童生徒は意欲的に学習に臨み、関心や意欲が高まっている。デジタル教科書は視覚的に理解しやすく、学習効果が大きい。 ・全員の意見を一度で可視化できる機能により、友達意見を聞きたいと思う児童が以前より増えた。 ・タブレットデー（タブレット持ち帰り日）を設定し、家庭学習でのタブレット活用を促進した。 ・機器を実際に活用して校内研修を行うことにより、活用力が高まった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの持ち帰りは、限られた頻度であり、十分な活用とはならなかった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用していくためにも、計画的に持ち帰りを進めていく。 ・GIGA スクールサポーター等、ICTによる学習環境を計画的に整備していく。 ・授業におけるタブレット活用の情報交換や幅広く活用できる工夫のための校内研修を充実させる。 ・情報モラルを身に付けさせるため、引き続き、児童生徒への指導の充実を図る。
		～R2	R3	今後予定																		
鳥屋小学校	20台	3台	2台																			
鹿島小学校	9台	5台	3台																			
鹿西小学校	4台	3台	2台																			
中能登中学校	14台	5台	3台																			

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価								
<p>(1) 確かな学力を育む教育の推進</p>	<p>○学力調査の実施と活用</p> <p>① 小学校における学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県基礎学力調査及び全国学力調査（4年・6年）の実施（5月） 採点分析して課題を確認後、後期学力向上プランを修正 ・県評価問題の実施（12月） 採点分析して課題を確認後、3学期学力向上プランを作成 ・町の学力調査の実施（全学年） <p>② 中学校における学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の全国学力調査は5月実施。 同時期に行われる中間テストをなくし、生徒の負担を軽減する工夫を行った。 ・学力調査の趣旨を捉え、自校での分析を早急に行い、学習計画の見直し、授業改善に学校全体で組織的に取り組んだ。 ・GTEC※6での4技能調査実施（2年・3年） ・英語検定の実施（10月、1月） 受検料の半額を町が助成。 希望者が受検（受検者数：延べ 285名） 合格者数：延べ 242名 <table style="margin-left: 100px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">準2級</td> <td style="padding-right: 20px;">12名</td> <td style="padding-right: 20px;">3級</td> <td>73名</td> </tr> <tr> <td>4級</td> <td>59名</td> <td>5級</td> <td>98名</td> </tr> </table>	準2級	12名	3級	73名	4級	59名	5級	98名	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策による学習活動の制限により、学習内容の定着が懸念されたが、学力調査結果の分析を通して、校内研修を実施し、全教職員で共通理解を図り、日々の授業の中で改善策を実践することができた。 ・課題に関わる単元等を、全学年の年間指導計画にマークし、授業設計に活かすことで課題改善を図った。 ・中学校で英語検定3級程度以上の英語力を有する生徒の割合が59.3%となり、県の目標値（R7 60%）に到達するほどの大きな成果が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の分析結果を、今後、どのように活かし実践していくのかということが最も大切なことである。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に効果の見られた指導を継続し、基礎学力の確実な定着となるよう取り組みプランを作成する。 ・学校全体の課題を共通理解し、教科部会の一層の充実を図っていきたい。
準2級	12名	3級	73名							
4級	59名	5級	98名							

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○家庭と連携した学習習慣の確立</p> <p>①各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級・学年・学校通信の発行 家庭学習の習慣が身に付くように、保護者への協力を依頼する。 ・研究部会で「学習だより」を発行 授業や学習における研究の取組状況を発信し、保護者の関心を高める。 ・保護者懇談会（1・2学期通知表渡し） 担任と保護者の面談 <p>鹿西小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップ部会「学びの土台部会」において、生活・学習アンケートの実施 通信「すくすくぐんぐん」の発行（7・11月） <p>②中能登中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登中オリジナル自学「NAKANOTE」の実施 A4版で上段は授業で分かったことを書き、振り返り欄で、下段は従来の自学ノートである。 ・放課後スッキリタイム 定期テスト後に課題が達成されていない生徒や学習の定着が不十分な生徒を対象に実施。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を重視しており、特に学級・学年通信による保護者への協力依頼では、家庭での学習習慣などの効果がみられた。 ・通信「すくすくぐんぐん」で科学的根拠を示しながら、家庭での生活習慣改善を啓発することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットや動画視聴、ゲーム時間の改善を図るための取り組みが必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種通信の内容を充実させる。また、必要に応じて、電話連絡などで保護者の協力を依頼する。 ・家庭との連携をより強化し、放課後スッキリタイムの対象者を減らすよう取り組む。
	<p>○コロナ禍における学習の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(第4波)「石川県緊急事態宣言」発出 5/12～6/13 中学校部活動の一部制限（練習試合の禁止） ・(第5波)「まん延防止等重点措置」適用 8/2～9/30 デルタ株への置き換わり 中学校部活動の一部制限（練習試合の禁止） ・(第6波)「まん延防止等重点措置」適用 1/27～3/21 オミクロン株への置き換わり 町立小学校、中学校で感染者が増加 相次ぐ臨時休業、学年閉鎖、学級閉鎖の措置 中学校部活動中止 2/4～2/20 <p>(感染拡大時の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大時には、緊急メッセージとして保護者へ感染症対策徹底を周知。 ・校内においては、授業の工夫を行い、掃除や給食、休み時間などの場面ごとに注意点を校内放送やリモートにより児童生徒に指導。 その他、掲示物、消毒液の配置、施設清掃、ソーシャルディスタンス等感染症対策を徹底し、学習環境を確保した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により、町立学校においても、第5波から臨時休業措置をとるようになり、第6波においては、小中学生の感染者が増え、臨時休業、学年閉鎖、学級閉鎖の措置をとり、感染の拡大防止に努めた。また、中学校部活動では、練習試合の禁止や感染拡大時には、部活動の中止などを行った。 ・差別や偏見につながる言動は絶対にしないなど人権に配慮した指導も合わせて行った。 <p>【課題・今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急な、臨時休業等が多く、自宅学習でタブレット活用をすることができなかった。 ・今後、持ち帰りを増やし、活用できるように取り組む。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) ふるさと学習の推進	<p>○「わたしたちの中能登町資料編」を活用した学習により、地域の豊かな自然や文化・歴史遺産等の良さを学び、郷土愛高揚の促進を図る</p> <p>各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの中能登町資料編」(H27 作成) 小学3・4年生の社会科学習の社会科副読本として活用 ・社会科及び総合の時間での見学・体験学習 雨の宮古墳、石動山・大宮坊、不動滝、天日陰比咩神社などを見学し、地域の歴史や文化について学習 ・中能登町でお気に入りの場所や物を紹介するポスターを作成し、道の駅で掲示(鹿西小3年) ・「中能登町子どもふるさと検定」を継続的に実施(4年) ・豊かな自然、稲作体験学習(5年) 里山づくりISOの保全活動の取組 5月 田植え体験 6月 苗の生育学習、田んぼの除草作業 9月 稲刈り体験 10月 脱穀体験 11～12月 稲作新聞づくり ・石動山ユリプロジェクト(鹿島小6年) 7年前から地元の有志の協力を得て、中庭に球根を植え、育てる取組 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科の地域学習や4年生が「町ふるさと検定」に取り組むことにより、町の歴史や文化に触れる良い機会となった。 ・おにぎり発祥の地であり、稲作学習や体験を通して、地域の方とのつながりもつくることのできた。 ・中能登町の良さを学び、道の駅にポスターを掲示することにより、発信することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料編が平成27年度作成のため、内容の更新が必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科だけでなく、総合的な学習の時間においても活用し、地域のことを知り、地域と関わる学習を進め、今後も郷土愛を高められるよう取り組んでいきたい。
	<p>○伝承文化の体験と鑑賞</p> <p>鳥屋小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校運動会での中能登音頭 コロナ感染症拡大防止のため中止 ・3年生の総合的な学習 「どぶろく※7」や「能登上布※8」を取り上げ、調べ学習や見学を行った 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な行事が縮小され、実施できなかったものが多くあったが、感染症対策を行いながら見学等を行うことができた。写真より本物を見て体験することで理解を深めることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容によって、リモートでの交流を進めるなど、地域人材を活用していろいろな体験ができるよう、各学年で可能な限り地域についての学習を計画していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p>○児童会活動及び生徒会活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 <ul style="list-style-type: none"> リモートでの児童集会 委員会活動 縦割り班 <ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ・声かけ」運動（毎月15日） 石川県のスポチャレへ登録してチャレンジ なわとび練習（なわとび大会は中止） ・鹿島小学校 <ul style="list-style-type: none"> 委員会活動 縦割り班 <ul style="list-style-type: none"> 6/9 団！盛り上げプロジェクト 9/24 なかよくなるろう会 11/16 オリエンテーリング 2/25 6年生を送る会 ・鹿西小学校 <ul style="list-style-type: none"> 委員会活動 縦割り班を活用した「なかよし活動」 <ul style="list-style-type: none"> なかよし集会、なかよし掃除、 なかよしなわとび大会、 運動会での応援合戦（よさこい含む） ・中能登中学校 <ul style="list-style-type: none"> 生徒会認証式、生徒総会、委員会活動、 学年集会、学校祭、生徒会役員選挙 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を考慮して、リモートでの児童集会、学年集会を行った。小学校では、児童が、話しをしながら見せるものの媒体の工夫の必要性を感じ、自分たちで視覚に訴えるものを準備するようになり、主体的に自分たちでできることを考え、行うことができた。 中学校では、学年集会の取り組みを充実させ、生徒間でのリーダーの育成を意識した取り組みを行うことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班での活動の代替案が見つからず、工夫を重ねることが必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校集会等の実施が難しい現状が続いているが、リモートでの実施ができるように視聴覚室などの環境整備を行う。 ・リモートでの児童集会を通し、児童が聞く人を意識した呼びかけができるようになり、今後も工夫した取り組みを継続していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○心に響く学校行事や各種体験活動・ボランティア活動への積極的な取組</p> <p>① 心に響く体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 <ul style="list-style-type: none"> 「中能登おにぎり縁結びの会」との協働学習 (3年) 絵本(宮沢賢治)講話(6年) 運動会でのよさこい踊り(5.6年) つばさの会とのポッチャの交流体験(4年) 本物のトーチと聖火ランナーの体験談(全学年) バス遠足(全学年) ・鹿島小学校 <ul style="list-style-type: none"> サマーコンサート(2年) クリスマスコンサート(1年) 本物のトーチと聖火ランナーの体験談(6年) ・鹿西小学校 <ul style="list-style-type: none"> オリンピックトーチがやってきた!(7/19~7/20) 本物のトーチと聖火ランナーの体験談 <p>運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦割り班対抗競技(全学年) 応援合戦・よさこい踊り <p>学習発表会(全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心のつながりと表現力を鍛える 6年生感謝デー 5・6年生の引継ぎ式 <ul style="list-style-type: none"> ・中能登中学校 <ul style="list-style-type: none"> 学校祭 合唱コンクール、体育的行事、壁新聞 修学旅行 代替記念品の贈呈 <p>② ボランティア活動への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に小学校4年生の総合的な学習の時間において、誰もが住みよい町となるよう、福祉活動に関する学習を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 認知症キッズサポーター養成講座(4年) 高齢者疑似体験(鳥屋小4年) 避難生活体験(鳥屋小6年) 防災教室(鹿島小4年) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校運動会では、鼓笛演奏に代わり、よさこい踊りに挑戦するなど、例年になく新しい活動を行うことができた。 ・中学校の学校祭では、生徒の感想から「協力、団結、全力、感謝、思い出」などがあり、心をつなげた行事となったことがわかる。昨年できなかった合唱コンクールも、ステージを工夫するなどして復活することができ、心を洗われる素敵なコンクールであった。 ・2年連続で修学旅行が中止となった中学3年生に、少しでも旅行気分を味わってもらおうと、町より訪問予定先のお土産が贈られた。生徒からの挨拶に「家族と一緒に楽しみたい。」とこの企画に感謝の言葉があった。 ・福祉活動の学習を通し、相手を思う気持ち、困ったときは助け合う気持ちの大切さを学ぶことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても、感染症対策を行いながら工夫して取り組み、これまでの活動を継続するだけでなく、各種体験活動が、児童生徒にとって効果的な学習となるよう、実態に応じた活動や取り組みを行う。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○道徳教育、人権教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 <ul style="list-style-type: none"> 道徳授業参観（全学年一斉公開授業） 道徳コーナー（全学年） <ul style="list-style-type: none"> 道徳コーナーで学んだことを学校行事にどう活かすのか、活かしたかを掲示する。 町人権標語の取組（5・6年） 人権擁護委員による人権教室（5年） 弁護士による人権講話（6年） 平和集会（全学年）8/6 ・鹿島小学校 <ul style="list-style-type: none"> 「ファミリー・アクティブトーク」 長期休み（夏休み）に家族で1つのテーマについて話し合う取組 人権集会（全学年） <ul style="list-style-type: none"> 人権標語の紹介、人権擁護委員による読み聞かせ 平和集会（全学年）8/6 ・鹿西小学校 <ul style="list-style-type: none"> 弁護士による人権講話（4年） 人権擁護委員による道徳授業（人権教室 6年） 道徳教育推進教師による人権・東日本大震災の教材の紹介 平和集会（全学年）8/6 ・中能登中学校 <ul style="list-style-type: none"> 人権作文コンテスト 423名応募 人権教室（2年）デートDVって何（3年）インターネットと人権 人権教育（令和3年度 文部科学省指定研究校） 学校祭における人権新聞作成の取組など 平和集会（全学年）8/2 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事と関連づけたことで、児童は授業で学んだことを行動に表すことができた。 ・ゲストティチャーを招いての授業は学習効果が大きい。 ・1つのテーマについて話し合う時間を持つことができ、家庭と連携した取り組みが行えた。 ・中学校では、文部科学省指定研究校として、人権教育の充実を図る取り組みの中で、いろいろな角度から理解を深めることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事との関連づけや家庭と連携した道徳教育、人権教育を継続していくことが大切である。
	<p>○いじめ、非行、不登校へのきめ細やかな指導及び携帯電話やスマートフォン等の使用への適切な対応</p> <p>① いじめ問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」に対しての早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> いじめアンケート調査実施（月1回）、個別面談 QUアンケート※9の実施 いじめ対応アドバイザー派遣事業を活用（小中学校に派遣） 校内いじめ問題対策委員会による対応 ・弁護士による「いじめ防止教室」（鳥屋小6年） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ事案について、管理職を中心に学校全体で取り組む体制ができ、いろいろな立場や場面からいじめを発見し、迅速な対応ができた。 ・アンケートをタブレット端末にて行うことで結果が即把握できるシステムの構築を行った。いじめにつながると思われる問題の早期把握及び改善につながった。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p>② 非行（暴力）の防止と取組</p> <p>関係機関と連携し、多様化する非行の現状を踏まえ犯罪被害の防止と健全育成対策を進める。</p> <p>各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンやオンラインゲームによる危険性やトラブルの内容を知らせるとともに、被害回避の方法を学ぶ機会を設定している。 <p>ピュアキッズスクール</p> <p>「人のものをとってはいけない」（2年） 「ネットトラブル」（5年）</p> <p>非行被害防止教室</p> <p>スマホ・オンラインゲーム講話（鳥屋小3～6年） スマホ・ケータイ安全教室（鹿島小6年） スマホ・ケータイ講座（鹿西小6年・全保護者）</p> <p>③ 薬物乱用防止教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校で、薬物・喫煙・アルコール飲酒が心身に及ぼす被害について、学校薬剤師や保健所職員、大学職員を講師に迎え、科学的根拠に基づいた講義を実施。 <p>各小学校 6年生 中学校 2年生</p> <p>④ 不登校児童生徒への対策と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校しぶり傾向の状況を日頃からの児童生徒の観察を通して把握し、早期に適切な対応が取れるように取り組んだ。 登校しぶりが見られる児童生徒に対しては、学校と保護者の面談だけでなく、スクールカウンセラーとの面談など早期対応を図っている。 <p>また、知り得た情報を基にケース会議を開いて対策を立てている。</p> <p>個別指導や別室指導の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒へは、学校との関係が切れないように電話や家庭訪問、タブレット端末での面談などを実施している。 <p>⑤ ネットの諸問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ネット被害防止 指導資料（CD）、資料「親子のホッとネット大作戦」等を活用 ノーテレビ・ノーゲームデー（毎月1回）の実施 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノーテレビ・ノーゲームデーに合わせ、うち読デーを加えた学校もあり、取り組みの工夫がみられた。 スマートフォンやオンラインゲームに関する講座を設定したことで、夜遅くまでゲームをしていて登校できないという児童が減った。 登校しぶりが見られるようになった児童に対して、担任だけでなく、関係職員やスクールカウンセラー、町子育て支援室などと連携し、より適切な方法を考えながら対応することができるようになった。 不登校児童生徒には別時間割を組み、無理のない範囲で学校生活を送ることができるように努め、登校への配慮を行った。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細やかな児童生徒理解を継続し教職員間での共有を図っていく。 スマートフォンやゲームとの向き合い方を考える指導は今後も継続し、年1回の講座開催ではなく、PTAとも連携し、年数回にわたって計画的に実施していく必要がある。 不登校児童生徒については、一人ひとりに応じた支援を継続し、解決が困難な場合はSSW※10を活用し対応していく。また、新たな不登校を増やさないためにもきめ細やかな対応に努めたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) スポーツの振興	<p>○町体育協会などスポーツ団体との連携による支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 <p>運動部活動指導等において、生徒の運動能力向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部コーチを要請し配置（11部活動） 部活動指導員の配置（3部活動） 男女バドミントン部（H30～） 弓道部（R1～） 男子ソフトテニス部（R2～） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、中学校の3運動部活動に部活動指導員を配置し、活用することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後ともスポーツ団体等との連携を図り、部活動の支援体制を整える。 ・令和5年度より、地域部活動へ取り組みが移行していくことから、準備が必要である。
	<p>○スポーツ教室への加入促進</p> <p>各小学校の体育館において、放課後スポーツ教室を実施。地域の運動指導者の協力により、児童の基礎体力の向上に努めた。</p> <p>実施日：7月～2月（各月2回程度、9月は中止）</p> <p>参加者：鳥屋小学校 2.3年生 実 21人 鹿島小学校 2.3年生 実 30人 鹿西小学校 1.2.3年生 実 29人</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校より参加募集等の協力を得ており、年々、参加者が増えている。 ・コロナ禍であっても、体力維持に努めることができる機会であり、児童はとても楽しみに参加していた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の基礎体力の向上を図るため、継続して行う。
	<p>○活動費の助成や大会派遣への支援体制の強化</p> <p>① 小学生のスポーツ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわっ子駅伝交流大会の参加費等補助を実施 <p>参加校 鳥屋小学校（男子・女子） 鹿島小学校（男子・女子） 鹿西小学校（男子・女子）</p> <p>② 中学校体育連盟が主催する大会、準ずる大会の派遣費補助を実施（10割補助）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国中学校体育大会（団体2競技、個人5名出場） <p>（団体）駅伝男子、駅伝女子 （個人）柔道男子1名 剣道男子1名 陸上男子3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北信越中学校体育大会（団体4競技、個人20名出場） <p>（団体）駅伝男子、駅伝女子、ソフトテニス男子、バドミントン男子 （個人）柔道男子2名、女子1名 剣道男子1名 ソフトテニス男子4名 陸上男子11名、女子1名</p> <p>③ 石川県大会は参加費等及び交通費の補助を実施</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、小学校では3小学校の男女共に、いしかわっ子駅伝交流大会の参加することができた。 ・中学校では、生徒は練習を重ね、北信越大会及び全国大会へ出場をつかんだ競技があり、大会派遣にかかる必要な経費を補助することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して実施し、大会に参加する児童生徒の支援を行う。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) スポーツの振興	<p>○体力の向上</p> <p>① 県スポチャレへの登録（各小学校） 40mリレー、シャトルボール、8の字縄跳び、長縄跳</p> <p>② マラソン記録会（各小学校 10月） 記録会に向けて、マラソンウィーク等を設定、練習に取り組む中で持久力を養う</p> <p>③ 器械運動発表会（各小学校 3年） マット、跳び箱、鉄棒</p> <p>④ 水泳教室・記録会（各小学校 5・6年）</p> <p>⑤ 体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（4・5・6年） 握力、上体起こし、前屈、反復横とび、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ ・中学校（1・2・3年） 握力、上体起こし、前屈、反復横とび、持久走シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であり、3小学校合同交歓会は開催できなかったが、校内記録会、発表会などに向け、目的をもって練習に取り組み、体力の向上を図ることができた。 ・体力テストの結果から各学校、学年ごとに、劣っている項目について、体力を補う内容を体育の授業に取り入れ改善を図っている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業の取り組みにも反映し、体力向上に努める。
(5) 安全安心な学校づくり	<p>○交通安全意識の高揚と実践</p> <p>① 交通安全教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校（全学年） 通学路の安全な歩き方（低学年） 自転車の乗り方（中・高学年） ・鹿島小学校（1・2年） DVD等を活用し交通安全について学習 ・鹿西小学校（1年） 交通ルール、安全な横断の仕方について学習 ・中能登中学校 DVD等を活用し交通安全について学習 <p>② ヘルメット助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校入学時に新1年生申請者にヘルメット購入費の全額を補助（助成生徒数：135人） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室や街頭指導により、通学路の安全な歩き方や自転車、バスの乗り方等についての知識を得られ、児童生徒の意識を高められた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室は、今後も感染症対策を行いながら実施し、日常の注意や道路の安全について意識づけを図る必要がある。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全安心な学校づくり	<p>○防災訓練等の充実（地震、洪水、土砂災害、原発事故等） 各学校施設の災害区分に対応した避難確保計画を策定している。（令和2年度）</p> <p>鳥屋小学校（土砂災害に関する避難確保計画） 鹿島小学校（土砂災害に関する避難確保計画） 鹿西小学校（土砂災害に関する避難確保計画） 中能登中学校（水害に関する避難確保計画）</p> <p>① 避難訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校で年度初めに計画された防災計画に基づき、地震、土砂、火災、原発事故、不審者対応などを想定し、年間2～3回程度の避難訓練を実施。 保護者への引き渡し訓練 Jアラート※11訓練やシェイクアウトいしかわ等、県・町防災訓練等にも積極的に参加した。 土砂災害に関する学習（全校一斉）（鹿西小） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難訓練では、児童が自分事として考えられるように、具体的な災害の場所の想定をし、実際の資機材を用いて行った。 結果、児童に避難する際の具体的なイメージをもたせることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で避難の過程を体験できずに講話のみとなった訓練、全校児童の参加ができなかった訓練があった。保護者への引き渡し訓練においても一部実施ができなかった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も策定された避難確保計画に基づき、避難訓練を年間予定に位置付けて計画的に実施する。 想定される災害の避難訓練を実施し、検証と改善を行っていく。
	<p>○通学路の定期点検 通学路の合同点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小学校で通学路の安全点検及び各関係機関と連携した通学路の点検を実施し、危険箇所の改善を図った。 児童に対して通学体験などを指導。 「中能登町通学路安全プログラム」（町ホームページを参照）に基づき公表した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携しながら通学路の点検を実施し、危険箇所の改善を図ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も安全重視の視点で通学路の点検を行い、早期改善に努め、危険箇所を減らし、安全安心な通学路に努めていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																
(6) 特別支援教育の充実	<p>○家庭・保育園等・学校・教育委員会の定期的な懇談会の実施</p> <p>① 保育園、子ども園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間2回～3回 町内保育園、子ども園を訪問（教育委員会） ・夏休み期間等、町内保育園、子ども園を訪問（小学校教諭）※再掲：保小連絡会の取組 <p>② 年中児巡回相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月～10月 町内保育園を訪問（教育委員会） <p>③ 未就学児及び在学児童生徒の相談などの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育相談 6月1日 ・県就学相談 10月5日 ・町就学相談 8月5日 10月26日 ・教育支援委員会 11月25日 <p>④ 定期的な小学校への訪問（教育委員会）</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で保育園等への訪問は、感染症対策を図り、時期を考慮して実施できた。 ・年中児巡回相談では、次年度への就学に向けてのつなぎをもつことができた。 ・保育園訪問等を通して、新小学校1年生のスムーズな受入れができた。 ・学校においては、家庭や町子育て支援室、教育委員会と連絡を取り、対策を話し合うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も連携が図られるよう継続していきたい。 																
	<p>○特別支援教育支援員の適正配置と研修の充実</p> <p>① 各小中学校に特別支援教育支援員を配置</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td>3名</td> <td>鹿島小学校</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td>5名</td> <td>中能登中学校</td> <td>2名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員打合せ会 支援員・校長・特別支援教育コーディネーター・特別支援学級担任で週1回定期的に打合せを実施 <p>② 特別支援教育支援員研修会（各校毎に開催）</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td>12月10日</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td>12月8日</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td>12月16日</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td>12月13日</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 特別支援教育支援員、学校図書館司書 <p>③ 医療的ケア児の校内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを必要とする児童のための看護師配置 ・看護師による教職員向けの研修会実施 	鳥屋小学校	3名	鹿島小学校	7名	鹿西小学校	5名	中能登中学校	2名	鳥屋小学校	12月10日	鹿島小学校	12月8日	鹿西小学校	12月16日	中能登中学校	12月13日	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員の配置により、個々に応じた支援が行われ、学校全体の落ち着いた学習環境づくりに大きく寄与している。 ・研修会はコロナ禍のため、日程延期・再調整を行い、各校毎での開催となった。指導主事から、支援員の役割の基本についてと日頃の対応の仕方等を学ぶことができた。 また、配慮が必要な児童生徒の理解を深め、学校内での対応等へ活かすため、はじめて、学校図書館司書研修会も兼ねて行った。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も状況に応じ、特別支援教育支援員を配置し、研修会や打合せ会において、支援員の視点や児童に関する情報を得ながら、児童生徒に寄り添い効果的な支援につなげたい。
	鳥屋小学校	3名	鹿島小学校	7名														
鹿西小学校	5名	中能登中学校	2名															
鳥屋小学校	12月10日																	
鹿島小学校	12月8日																	
鹿西小学校	12月16日																	
中能登中学校	12月13日																	
<p>○特別支援学級の整備充実</p> <p>① 特別支援学級</p> <table style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>（知的）</td> <td>3学級</td> <td>1学級</td> </tr> <tr> <td>（自閉・情緒）</td> <td>3学級</td> <td>2学級</td> </tr> <tr> <td>（難聴）</td> <td>1学級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>（肢体不自由）</td> <td>2学級</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>小中学校特別支援学級の交流会の実施 合同クリスマス会 12月6日</p> <p>② 通級指導教室（小学校3教室、中学校1教室）</p>		小学校	中学校	（知的）	3学級	1学級	（自閉・情緒）	3学級	2学級	（難聴）	1学級		（肢体不自由）	2学級		<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級教室では、児童の困り感に応じた対応ができ、希望者が増え、弾力的運用も増えている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする児童生徒に応じて、必要な学級を整備確保していく。 		
	小学校	中学校																
（知的）	3学級	1学級																
（自閉・情緒）	3学級	2学級																
（難聴）	1学級																	
（肢体不自由）	2学級																	

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価															
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>○教育委員会の学校訪問</p> <p>1. 実施日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画訪問 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">C</td> </tr> <tr> <td>鳥屋小</td> <td>10月25日</td> <td>2月2日</td> </tr> <tr> <td>鹿島小</td> <td>10月8日</td> <td>1月31日</td> </tr> <tr> <td>鹿西小</td> <td>9月17日</td> <td>2月8日</td> </tr> <tr> <td>中能登中</td> <td>9月28日</td> <td>1月24日</td> </tr> </table> ・要請訪問 <p>2. 内容</p> <p>(1) 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の経営ビジョンに基づいた組織的運営 ・人材育成（若手育成体制） <p>(2) 研究授業及び研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にした授業の研究 ・スタートカリキュラムの実施状況観察 ・指導法の工夫・改善に向けた指導 <p>(3) 担当者打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主任 ・道徳教育推進教師 ・特別支援教育コーディネーター ・生徒指導主事 		A	C	鳥屋小	10月25日	2月2日	鹿島小	10月8日	1月31日	鹿西小	9月17日	2月8日	中能登中	9月28日	1月24日	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問により目標の共有や取り組みの進捗状況、児童生徒の変容を把握することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた計画訪問を継続し、各校の課題や必要性に応じた研修の計画・実施を積極的に行うことを働きかける。 ・各校の若手育成の時間的、内容的な工夫について情報収集をし、各校が人材育成できるようにする。
		A	C														
	鳥屋小	10月25日	2月2日														
鹿島小	10月8日	1月31日															
鹿西小	9月17日	2月8日															
中能登中	9月28日	1月24日															
<p>○教育関連施設の現状視察や町PTA連合会との懇談会の開催</p> <p>① 教育委員会視察研修</p> <p>テーマ：わが町のGIGAスクール構想の現状について コロナ禍における学校教育の現状について</p> <p>実施日：令和3年11月11日</p> <p>(1) 「タブレット端末を活用した授業見学」</p> <p>場 所：鹿島小学校</p> <p>参加者：教育長、教育委員（4名）事務局（5名）</p> <p>(2) 「中能登町立小中学校との意見交換」</p> <p>場 所：ラピア鹿島</p> <p>参加者：教育長、教育委員（3名）、事務局（5名） 町立小中学校長（4名）</p> <p>② 町PTA連合会との意見交換（書面回答）</p> <p>内 容：町や教育委員会への要望について</p> <p>実施日：令和3年8月</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続く中、学校訪問などが自粛され、学校教育の現状を知る機会が減っていることもあり、感染状況を見ながら実施時期を検討し、今年度の視察研修を行った。 ・実際、タブレットを活用している授業見学により、GIGAスクール構想の取り組みを確認でき、意見交換する中で、変化する教育現場の現状、対応や方向性を知ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も教育委員会視察研修や町PTA連合会との意見交換を継続しながら、町の教育環境を整えていきたい。 																
<p>○教育委員会に指導主事を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年度より、教育委員会に指導主事を1名配置 	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への指導を継続していきたい。 																

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>○教育委員の研修参加</p> <p>① 教育委員会連合会研修参加</p> <p>(1) 定期総会・講演会</p> <p>実施日 令和3年5月11日</p> <p>場 所 金沢市教育プラザ富樫</p> <p>演 題 GIGA スクール環境の上にどんな「未来の教室」を創りますか</p> <p>講 師 経済産業省サービス政策課長 浅野 大介 氏</p> <p>(2) 教育委員会セミナー</p> <p>実施日 令和3年7月30日</p> <p>場 所 KKR ホテル金沢</p> <p>演 題 「感染症に立ち向かう」</p> <p>講 師 金沢ふるさと偉人館 副館長 増山 仁 氏</p> <p>(3) 研究大会</p> <p>実施日 令和3年10月15日</p> <p>場 所 野々市市(にぎわいの里 ののいちカミーノ)</p> <p>内 容 ・ 県教育次長による講話 ・ 研究協議(学校教育・社会教育・教育行政)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会やセミナー、研究大会の参加について、コロナ禍で人数制限がかかったものもあったが、参加を通して教養を高め、また、県内市町の状況を知ることができ良い刺激を受けた。 ・ <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も教育委員会連合会の研修、セミナーに積極的に参加し見識を広めていきたい。
	<p>○社会教育委員との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グットマナーキャンペーン街頭指導 (9/6～9/10) 町内のJR4駅周辺において、街頭指導の実施。社会教育委員の協力、その他11団体の協力を得て実施し、社会全体で青少年の規範意識の向上、心の教育を推進する機運を高めた。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症対策に伴い、街頭指導以外の事業は実施できていない。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取り組みを推進し展開して行くためにも社会教育と連携を図っていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○中能登プロジェクトの発展 コミュニティ・スクールの推進 第1期 (R2) 先進地視察研修 (かほく市) 第2期 (R3～R7) 小中学校にコミュニティ・スクールを設置</p> <p>① 教育委員会内の打合せ(学校教育課、生涯学習課) 第1回 6/28 中能登プロジェクトの進め方 R3の取組について 第2回 10/11 学校からのアンケート結果 事業のイメージ図(案)</p> <p>② 総合教育会議 実施日 令和3年12月2日 場 所 総務庁舎 2階大会議室 テーマ 中能登プロジェクト事業(コミュニティ・スクール)の推進について 出席者 町長、教育長、教育委員、総務課、学校教育課、生涯学習課</p>	<p>【成果】 ・令和3年度において、教育委員会内での打合せを開始し、立ち上げに係るスケジュールなどを確認し、総合教育会議において、町長部局との協議を行うことができた。</p> <p>【今後の方向性】 ・令和5年度には、学校運営協議会が設置できるよう、人材を確保し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図る。</p>
	<p>○学校行事・町行事への参加の呼びかけ</p> <p>① ケーブルテレビ(なかのとチャンネル)放送 ・「こども通信」にて各小中学校の取組等を紹介 ・「なかのとスペシャル」</p> <p>③ その他広報 ・学校だよりを発行 家庭へ配布及び地区への回覧 ・学校ホームページに掲載 ・DVDに収録し配布 中学校の学校祭を収録し、各家庭で視聴</p>	<p>【課題・成果】 ・コロナ禍であり、学校行事への参加は、各家庭1名など制限を行っており、地域の人へ参加を呼び掛けることはできなかった。 ・行事参加の呼びかけが難しかった分、ケーブルテレビやホームページ、広報などを活用し取り組みを紹介することができた。</p> <p>【今後の方向性】 ・感染状況から判断し、呼びかけを再開していきたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○食育の推進</p> <p>① 教科等における食に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による生活科の授業 <p>② 学校給食における食に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭、栄養士による巡回指導 ・給食委員等による食育放送 ・栄養教諭、担任による講話 ・給食委員会による栄養素分布パネル掲示 ・地場産物の活用 <ul style="list-style-type: none"> 給食を通して郷土を愛する心を育むために地場産物を献立に活用し理解を深めた。 6月 能登ふぐ 9月 金糸瓜 ・給食の残量調査を通し、食品ロスの改善を図った。 ・SDG s の取組（牛乳パックを資源ごみとして回収） <p>③ 家庭・地域との連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の「給食だより」による食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> 家庭で食の話題となるような取組や朝食の重要性を掲載するなど、家庭への啓発に取り組んだ。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育を通し、地域の食材に関する理解を深めることができた。 ・給食を残さずに食べようとする意識が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の朝食欠食率は11%前後でありあまり改善は見られなかった。給食の残量も、例年と同程度であった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善に重点をおき、食習慣の改善方法を探り、食育の推進に努めていきたい。 ・企業（アイルク）と協力して牛乳パックの回収を進めるなど、食育の取組をSDG s の取組へも広げるなど、児童生徒が関心のもてる取り組みとなるよう工夫していく。
	<p>○あいさつ運動や街頭指導の組織化と実践</p> <p>①各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ・声かけ」運動（鳥屋小・鹿島小） ・「キラキラあいさつさん」活動（鹿西小） <ul style="list-style-type: none"> 玄関前のあいさつ運動（全校児童） 地区当番制あいさつ運動（地域の人、保護者） ・「グッドマナーキャンペーン」街頭指導（9月） <ul style="list-style-type: none"> （教職員及びPTA保護者） ※再掲 ・街頭あいさつ運動、交通安全指導 <ul style="list-style-type: none"> PTA活動の一環として、毎月15日実施 ・地域ボランティア活動の実施（見守り隊、パトロール隊等） <ul style="list-style-type: none"> 登下校の継続的な見守り 通学路の安全な歩き方、バスの乗り方指導 <p>② 中能登中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> PTA役員を中心に実施 毎月第2・4月曜日の朝7:30～（20分間） ・あいさつ運動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 生徒会が中心となって実施 学級、部活動ごとに企画 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域ボランティア（見守り隊、パトロール隊）と連携し、学校と地域で年間を通して登下校の街頭指導を行い安全確保ができた。 ・車で送迎する保護者のマナー遵守、日常的なあいさつの定着へもつながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア（見守り隊、パトロール隊）のメンバーの高齢化により参加者が減少している。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な登下校の確保に努めるためにも、地域ボランティア（見守り隊など）を再度募集しながら、学校と家庭、地域が連携して児童を見守る体制を継続する。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域との連携強化	<p>○社会教育団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティア（毎月） 各小学校において「朝の読み聞かせ」実施 縮小実施または中止 ・グットマナーキャンペーン街頭指導（9/6～9/10） 12団体の協力を得て実施。社会全体で青少年の規範意識の向上、心の教育を推進する機運を高めた。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続いており、活動が縮小実施や中止となった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染状況を見ながら判断し、各種団体と連動しながら継続したい。
	<p>○教育力の向上を目指す学校・家庭・地域のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校 租税教室の開催（6年） 地域の人材活用（人材の把握と協力依頼） 「学校だより」による教育活動の周知 ・中能登中学校 学校での強化取組である「なかのとスタンダード」「なかのとルーティン」「なかのとネットマナー」などの徹底。 学校だより・生徒指導だより等により保護者への取組みの啓発を図っている。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材・資源を活用することで、生きた授業、実際の体験から教養と見聞を広めることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、来年度も更に上のレベルを目指し「なかのと High Standard」の強化を図っていきたい。
(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○区域外通学の弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登小中学校への区域外就学児童生徒数（新規） 中学生 9人 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の区域外通学について弾力的運用ができ定着してきている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、子どもの可能性を伸ばすためにも体制を確保したい。
	<p>○進路相談及び進路学習の充実</p> <p>中能登中学校</p> <p>① 高校説明会 鹿西高校の出前授業 七鹿羽咋郡市の高校</p> <p>② キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中能登しごと館」（6回目）PTCA※12活動と協働 実施日：11月6日（土）土曜授業 場 所：中能登中学校 受講者：中学生全員 内 容：仕事の職種 14講座を設置 講 師：保護者、地域の方々 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中能登しごと館」をコロナ禍ではあったが、講座をしばりできる範囲で実施できた。 毎年実施されており、生徒がさまざまな職業について、ホンモノに触れ、働くということについて考える貴重な機会となっている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中能登しごと館」は、キャリア教育の一環としてPTA活動と協働した取り組みであり継続して実施したい。 コロナ感染症の状況にもよるが、講師を厳選して実施したい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○小学校と中学校及び鹿西高等学校との連携</p> <p>① 小学校と中学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小中連携推進委員会（年3回） ・中学校部活動見学 中学校生徒による部活動紹介 小学6年生がすべての部活動を見学 ・出前授業 中能登中学校の生徒指導主事が3小学校へ出向き、中学校生活の心構えを中心に講話を実施 ・ピアサポート※13の実施 中学1年生が小学6年生の抱えている中学校生活の不安に回答する ・小中連絡会（学級編制を中心に実施） <p>② 中学校と鹿西高等学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高校学習会」鹿西高校からの出前授業、学習指導（新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのドリームスリー（3小学校の交流と中学校見学）を、中学校部活動見学とし、中学校生徒が主体的に取り組む中で、小学生が体験できる方法に見直しを行った。 ・生徒指導主事による出前授業やピアサポートは、中1ギャップを解消する上で大変効果的であった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高の連携では、教科面や生徒指導面において出前授業は欠かせない取り組みであると考え。またピアサポートは、メンタル面のサポートに欠かせない取り組みと捉え、今後はこの2つの取り組みを両輪に軸として連携を強化していきたい。
	<p>○学術文化など最先端を行く技術や知識を知る学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン ミュージカル 「劇団四季」鑑賞（鳥屋小・鹿島小 6年） ・文化芸術巡回公演事業 バレエ「コッペリア」鑑賞（鳥屋小 全学年） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で学術文化に触れる機会が縮小している中、芸術的な鑑賞ができ、本物の文化芸術作品に触れ、感動できる貴重な学習の機会となった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回公演事業など、普段、児童生徒が触れることのできない体験について、技術や知識が得られるよう継続していく。
	<p>○環境教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校 「いしかわ学校版環境ISO」の取組（毎年） 「エコキャップの収集」（町と連携した取組） ・鳥屋小学校 校内消毒のための、不要タオルを収集 ・鹿島小学校 久江川、地獄谷川、二宮川の水質調査 ・鹿西小学校 愛鳥モデル校指定（H30～R4）による取組 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電・節水は、校内掲示等で呼び掛け、空き教室の消灯が徹底された。エコキャップの収集は箱にあふれるほど集まり、関心の高い取り組みであった。 ・地域の川の水質調査を行うことで地域の環境問題について考えることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境問題に関心をもって行動していく児童生徒を育てる。また、SDGsの取り組みと環境教育を連動させ推進していきたい。

2 学校施設・設備の整備充実

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
学校整備事業	<p>○事業の概要</p> <p>1. 鳥屋小学校</p> <p>(1)工事名 東西階段手摺工事 工 期 5月31日～7月30日 工事費 495,000円</p> <p>(2)工事名 厨房機器撤去処分工事 工 期 7月26日～8月25日 工事費 1,375,000円</p> <p>(3)工事名 低学年棟ベランダ水道修繕工事 工 期 8月1日～8月18日 工事費 231,000円</p> <p>(4)工事名 高圧気中開閉器交換電気工事 工 期 9月13日～3月31日 工事費 489,500円</p> <p>2. 鹿島小学校</p> <p>(1)工事名 体育館水銀灯修繕工事 工 期 7月1日～8月25日 工事費 185,900円</p> <p>(2)工事名 放送卓機器修理 工 期 12月10日～12月28日 工事費 165,000円</p> <p>3. 鹿西小学校</p> <p>(1)工事名 運動場階段設置工事 工 期 6月29日～12月28日 工事費 567,600円</p> <p>(2)工事名 プール改修工事 工 期 8月26日～12月28日 工事費 3,300,000円</p> <p>(3)工事名 体育館玄関照明器具取替工事 工 期 2月25日～3月31日 工事費 255,200円</p>	<p>【成果】</p> <p>児童生徒の学習保障のための環境を整え、学校活動の継続を支援することができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き、学校施設等の充実を図り、安心安全な環境づくりに努めたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
学校整備事業	<p>4. 中能登中学校</p> <p>(1)工事名 エアコン修繕工事 工 期 7月27日～8月25日 工事費 1,243,000円</p> <p>(2)工事名 ランチルーム換気扇修繕工事 工 期 9月17日～9月30日 工事費 198,000円</p> <p>(3)工事名 エレベーター修繕工事 工 期 2月4日～3月31日 工事費 687,500円</p>	



3 学校給食

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																												
学校給食	<p>○学校給食費の第2子以降無償化</p> <p>①学校給食費の助成 ・中能登町に住所を有し、18歳に達する以後の3月31日までの間にある対象児童生徒を2人以上扶養している保護者へ助成する。</p> <p>②助成実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H31</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td>153人</td> <td>157人</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td>237人</td> <td>224人</td> <td>213人</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td>111人</td> <td>107人</td> <td>112人</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td>193人</td> <td>206人</td> <td>192人</td> </tr> <tr> <td>町外学校</td> <td>14人</td> <td>15人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>708人</td> <td>709人</td> <td>679人</td> </tr> </tbody> </table>		H31	R2	R3	鳥屋小学校	153人	157人	149人	鹿島小学校	237人	224人	213人	鹿西小学校	111人	107人	112人	中能登中学校	193人	206人	192人	町外学校	14人	15人	13人	合計	708人	709人	679人	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年から始まった、第2子以降の児童生徒の給食費無償化により、子育て世代への負担軽減につながっている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食費助成制度がわかりやすいものとなるよう、助成制度のあり方を検討していく。
		H31	R2	R3																										
鳥屋小学校	153人	157人	149人																											
鹿島小学校	237人	224人	213人																											
鹿西小学校	111人	107人	112人																											
中能登中学校	193人	206人	192人																											
町外学校	14人	15人	13人																											
合計	708人	709人	679人																											
	<p>○学校給食費の公会計化</p> <p>平成30年度から町予算に組み入れ管理・運用を行う「公会計制度」を採用。 学校給食費の徴収管理システムを導入し運営している。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食費の公会計化により、教職員の負担軽減が図られている。 																												

4 文化財

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価											
(1) 文化財保護事業	<p>○伝統的建造物群保存対策事業 保存活用計画の資料の整理を実施した。 中能登町伝統的建造物群保存地区保存条例の制定。</p>	<p>【成果】 ・中能登町伝統的建造物群保存地区保存条例を制定した。</p> <p>【課題】 ・条例制定に基づき保存活用計画の策定。 ・地区の同意。</p> <p>【今後の方向性】 ・保存活用計画を策定し保存審議会に諮る。地区説明会を行い、地区の同意をまとめる。</p>											
	<p>○史跡石動山保存整備事業 発掘調査により出土した遺物または記録した図面の資料整理を実施した。</p>	<p>【成果】 ・調査報告書刊行のための基礎資料の整理を実施した。</p> <p>【課題】 ・史跡整備にかかる調査が長年行われてきた石動山では、膨大な出土遺物と記録した図面があり、整理作業に時間を要している。</p> <p>【今後の方向性】 ・引き続き、整理作業を実施する。</p>											
	<p>○町内遺跡発掘調査等事業</p> <p>① 試掘調査等 宅地造成等の開発行為が増加傾向にあり、試掘調査等を行い埋蔵文化財保護に努めた。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>埋蔵文化財の照会</td> <td style="text-align: right;">16 件</td> </tr> <tr> <td>試掘調査</td> <td style="text-align: right;">4 件</td> </tr> <tr> <td>踏 査</td> <td style="text-align: right;">2 件</td> </tr> </table> <p>②古墳の測量調査 古墳は町の特色を示す文化財のひとつであり、複数年の計画で調査を実施。調査内容は古墳群の踏査及び測量調査を実施する。 令和3年度は、古墳群の踏査と町指定史跡水白鍋山古墳周辺の地形測量をおこなった。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>測量調査</td> <td style="text-align: right;">10月～12月</td> </tr> <tr> <td>調査検討委委員会(書面对応)</td> <td style="text-align: right;">1回(3月)</td> </tr> <tr> <td>古墳群の踏査</td> <td style="text-align: right;">2月～3月</td> </tr> </table>	埋蔵文化財の照会	16 件	試掘調査	4 件	踏 査	2 件	測量調査	10月～12月	調査検討委委員会(書面对応)	1回(3月)	古墳群の踏査	2月～3月
埋蔵文化財の照会	16 件												
試掘調査	4 件												
踏 査	2 件												
測量調査	10月～12月												
調査検討委委員会(書面对応)	1回(3月)												
古墳群の踏査	2月～3月												

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p>○指定・登録文化財の保護</p> <p>①文化財保護審議会の開催 開催日 令和4年3月17日 場 所 ふるさと創修館 委員数 5名</p> <p>②文化財パトロール 実施日 令和3年10月25日 文化財名 伊須流岐比古神社本殿及び拝殿 旧観坊</p> <p>③指定文化財の件数 指定・登録文化財 121件 (内訳) 国指定 5件 県指定 6件 町指定 105件 国登録 5件</p> <p>④指定文化財の維持管理助成 42件</p> <p>⑤史跡の保護 現状変更等許可申請 9件</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会を開催して指導・助言を得た。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の保存状態を把握しきれていないため、文化財所有者、管理者、保護団体への指導及び助言。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定や登録されるべき文化財の調査研究を進め、文化財の保存と活用が適切に図られるよう努める。
	<p>○文化財防火デーに伴う防火訓練の実施</p> <p>実施日時 令和4年1月8日 実施場所 国登録有形文化財 旧丹後家住宅 参加者 能登部上区、上区第1、2自警消防団 七尾鹿島消防本部中能登消防署、町役場・教育委員会（計30名参加） 訓練内容 通報訓練、初期消火訓練、放水訓練 防火設備の査察</p> <div data-bbox="475 1637 922 1930" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">防火訓練の様子</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災器具取扱業者より消火器具や設備の取り扱いなどの説明をお願いし、参加者の防火意識が高まるようにした。また、建造物の内部を地区住民に把握していただくことで火災に備えることや文化財としての価値を伝えることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災発生時等の連絡体制の構築 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財防火デーにあわせて訓練を実施し、地域住民の文化財愛護精神の醸成や防火への備えを確認していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価														
(2) 文化財管理運営事業	<p>○史跡・文化財施設の管理運営状況</p> <p>①石動山歴史の広場（史跡公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮坊（復元建物 H14 年度完成） <ul style="list-style-type: none"> 見学者数 1,925 人（12/1～3/20 冬季休場） 管理内容（委託）除草・樹木植栽管理 雪囲い設置（12/1～3/20） ・旧観坊（県指定文化財） <ul style="list-style-type: none"> 建物維持のため通風薪焚きの実施（12/1～3/20） ・石動山資料館の管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 入館者数 612 人（12/1～3/20 冬季休館） ・施設の修繕 <ul style="list-style-type: none"> 説明看板の修繕 トイレ循環槽ポンプ、フロアベルト修繕 旧観坊電気メータボックス修繕 <p>②県営能登歴史公園（石動山地区）管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設概要（H18 年度から指定管理） <ul style="list-style-type: none"> 開設面積：16.3ha 主な施設：遺構広場、芝生広場、便所、駐車場 ・主な管理内容 <ul style="list-style-type: none"> 園地管理 芝生・樹木管理など 施設管理 <ul style="list-style-type: none"> 公園管理事務所、公衆トイレの管理など ・公園利用者数 6,981 人 ・自主事業（イベント）の内容と参加人数 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>史跡を訪ねるつどい（5/3）</td> <td style="text-align: right;">133 人</td> </tr> <tr> <td>石動山ユリ展（7/11～7/19）</td> <td style="text-align: right;">556 人</td> </tr> <tr> <td>石動山スタンプラリー（10/2～11/23）</td> <td style="text-align: right;">166 人</td> </tr> <tr> <td>石動山秋のつどい（10/10）</td> <td style="text-align: right;">104 人</td> </tr> <tr> <td>石動山トレイル&ウォーク（11/7）</td> <td style="text-align: right;">31 人</td> </tr> <tr> <td>中能登トレイルラン（11/8）</td> <td style="text-align: right;">509 人</td> </tr> <tr> <td>出前講座等</td> <td style="text-align: right;">30 人</td> </tr> </table> ・施設の修繕 <ul style="list-style-type: none"> 木柵・ロープ柵修繕 駐車場車止め修繕 <p>③雨の宮古墳公園（史跡公園）・グリーン広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な管理内容 <ul style="list-style-type: none"> 芝生・樹木管理及び除草作業 雨の宮能登王墓の館の管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 入館者数 1,084 人 ・施設の修繕・委託等 <ul style="list-style-type: none"> 雨の宮 1 号墳・2 号墳階段修繕 雨の宮 1 号墳周辺樹木伐採業務委託 雨の宮古墳群案内看板修繕 （県道七尾・羽咋線 能登部交差点） 	史跡を訪ねるつどい（5/3）	133 人	石動山ユリ展（7/11～7/19）	556 人	石動山スタンプラリー（10/2～11/23）	166 人	石動山秋のつどい（10/10）	104 人	石動山トレイル&ウォーク（11/7）	31 人	中能登トレイルラン（11/8）	509 人	出前講座等	30 人	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護を図りながら定期的に公園内の芝生・樹木管理、公園施設の維持管理を行なった。また、利用については、学校教育、社会教育の場として活用することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石動山歴史の広場においては施設（大宮坊等）の経年劣化が目立つようになり、定期的な修繕が必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の適切な維持管理と活用に努めるとともに、展示施設の利用者増加を図るため、施設の改修を含め検討したい。 <div style="text-align: center;">  <p>自主事業 石動山ユリ展</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自主事業 石動山スタンプラリー</p> </div>
史跡を訪ねるつどい（5/3）	133 人															
石動山ユリ展（7/11～7/19）	556 人															
石動山スタンプラリー（10/2～11/23）	166 人															
石動山秋のつどい（10/10）	104 人															
石動山トレイル&ウォーク（11/7）	31 人															
中能登トレイルラン（11/8）	509 人															
出前講座等	30 人															

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 文化財管理運営事業	<p>○講座・企画展の開催</p> <p>①出前講座（郷土学習の支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登町歴史文化の招待 2件 ・学校・団体等の見学 <p>雨の宮古墳群 見学団体数 13件</p> <p>4/23 穴水中学校 (3年)</p> <p>4/27 鹿西高校 (1年) 羽咋工業高校 (2年)</p> <p>10/28 金石小学校 (6年)</p> <p>11/17 鹿島小学校 (4年) ほか</p> <p>石動山</p> <p>10/29 鹿島小学校 (6年)</p> <p>ふるさと創修館 (曳山展示室)</p> <p>3/9 開智学園 (埼玉県)</p> <p>②企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登メモリー写真展 ～あの日 あの時 あの場所で～ 開催期間 9/1～9/30 入館者 723人 ・大正・昭和の石動山 写真から見る過ぎ去りし記憶 開催期間 12/5～12/27、1/5～1/31 入館者 1,258人 <p>③体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくって学んで体験講座 (勾玉作り、銅鏡作り、ほうらい作り) 開催日 12/11・18 参加者 42人 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座や企画展を通して文化財に対する理解が深まったと考えている。企画展は戦前から平成までの町の様子を写した写真を多数展示し、町の行事や出来事を懐古する場として町内外の方々に提供できた。 ・今年度から新設したふるさと創修館図書室内の体験コーナーでは、体験講座を実施し、親子で歴史や文化を学ぶ場を提供できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに郷土愛や学校授業の理解を高めてもらえるよう、学校との連携による活動が希薄である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における文化財普及・啓発の新しい在り方を模索しながら、文化財に対する理解と愛護の精神をもっていただくよう、郷土の歴史文化を伝える学習機会を広く提供していく。 <div data-bbox="991 1323 1409 1601" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">体験講座 勾玉作り</p> <div data-bbox="1002 1715 1409 1984" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">体験講座 ほうらい作り</p>

5 生涯学習の振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 社会教育施設の充実	<p>○文化芸術活動を通じた交流、発表の場とする</p> <p>①町文化まっりの実施 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止のため成果なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方文化の指標となり、地方文化の振興に寄与するとともに、地域のコミュニティの維持と安定化が課題と考える。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会は全体的に高齢化が進み、脱退する団体も増え始めてきていることから、後継者の育成及び新規加入促進策を検討しなければならない。また、各団体の事業内容の見直しも行うように指導していきたい。
	<p>②文化推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空自衛隊・中部航空音楽隊コンサート (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・福祉のつどい・文化講演会 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・文化シンポジウム 能登半島と横浜 ～近代日本における銭湯経営者の系譜～ (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・しげちゃん一座 絵本ライブショー 183名 令和3年12月5日(日) ラピア鹿島 アイリスホール ・クリスマスコンサート 50名 令和3年12月25日(土) ラピア鹿島 アイリスホール ・ピアノにあえる日 50名 令和3年12月26日(日) ラピア鹿島 アイリスホール ・中能登ふれあいコンサート2022 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・東日本大震災写真展 100名 令和4年3月1日(火)～3月15日(火) カルチャーセンター飛翔 フレンテ広場 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度もコロナ禍であったが、席の間隔を開けるなど3密対策を講じて、8事業のうち4事業を開催することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況でも開催できるよう事業を考えることが課題となる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化芸術活動の活性化が図れるよう、場の提供を継続していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 社会教育施設の充実	<p>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</p> <p>①ラピア鹿島</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修状況 <ul style="list-style-type: none"> (1)非常用照明設備改修工事（第1期工事） <ul style="list-style-type: none"> 工事費 2,816,000 円 内 容 建築基準法の改正に伴い図書館部分の非常用照明47基をバッテリー内蔵型に取替 (2)高圧受変電盤改修工事 <ul style="list-style-type: none"> 工事費 951,500 円 内 容 高圧真空遮断器及び過電流継電器が経年劣化により取替 ・新型コロナウイルス対策 <ul style="list-style-type: none"> 自動消毒機の設置3台 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、左記の改修工事を実施し、安定した貸館運営ができた。 ・コロナ禍による感染予防及び拡大防止対策として、自動消毒機の設置や利用人数の制限など3密対策の徹底を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度もコロナ禍により利用者の減少が目立った。集客施設でもあることから感染リスクが高いため、行事やイベントの実施方法の改善が必要と考えられる。 ・ホール運営にあたっては、音響設備や照明設備の機器操作が必要であり、人事異動により不慣れな職員が対応することも考えられる。 ・令和3年度は大雪による駐車場等の除雪が土日に集中したこともあり、休日中の除雪体制と重機の手配に困った。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の機器操作の説明会や指導體制を構築し、ホール運営に支障がでないよう努めていく。 ・生涯学習に係る文化芸術活動が衰退しないよう、開催方法の助言やアドバイスを行っていく。 ・休日中の除雪体制や緊急対応について事前準備し、拠点施設の運営体制をとる。 ・経年劣化による施設及び設備不良の早期発見とともに突発修繕に対応する。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 社会教育施設の充実	<p>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</p> <p>②ふるさと創修館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修状況 <p>ふるさと創修館屋上防水改修工事</p> <p>工事費 2,310,000 円</p> <p>内 容 平成8年の建築で耐用年数も経過していることから2階屋上の防水シートの改修を行った。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、左記の改修工事を実施し、長寿命化を図られ、安定した貸館運営ができた。 ・コロナ禍による感染予防及び拡大防止対策として、利用人数の制限など3密対策の徹底を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度もコロナ禍により利用者が減少した。引き続き、貸館や行事、イベントの実施方法の改善が必要と考えられる。 ・施設の老朽化が進んでおり、計画的な施設及び設備の改修が必要となる。 ・令和3年度は大雪による駐車場等の除雪が土日に集中したこともあり、休日中の除雪体制に憂慮した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、コロナ過での運営が求められるので、利用人数の制限など3密対策を行い、感染予防及び拡大防止策をとる。 ・施設の老朽化が進んでおり、計画的な施設及び設備の改修を進める。また、軽微な修繕は早急に発見し対応する。 ・休日中の除雪体制や緊急対応について事前準備し、運営体制をとる。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 生涯学習講座の実践	<p>○住民のニーズを把握し、学習機会の場を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座の実施 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・女性講座 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止のため成果なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座受講者の自発的活動への発展。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が多い運動講座のメニューにエアロビクスを加え改善を図り、トレーニングルーム等の利用促進を促す。 ・壮年層が継続して取り組みできる書道講座などを取り入れる。
	<p>○ふるさと学習の充実を図る</p> <p>中能登町の生涯学習の推進を目的とし、町で活躍する文化活動の先生（講師）を活用し、地域及び学校の学習活動の支援を行う。</p> <p>まちの先生（メニュー10項目）</p> <p>(1) 食べ物作り (2) 手作り道具、手工芸 (3) スポーツレクリエーション (4) 自然、科学、環境 (5) 地域に伝わる芸能、歴史 (6) 日本文化 (7) 芸術 (8) 教育、福祉、生き方 (9) 国際交流 (10) その他 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止のため成果なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況が継続しているため、講師の活動が十分に行えない。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習の提供の周知・利用促進について、講師と協議を行いながら各イベントでの講座開催等、周知につなげていきたい。
	<p>○生涯学習人口の拡大を図る</p> <p>講演、体験・紹介コーナーを行い、町民への生涯学習活動について周知を行うと同時に、お互いが学びあえる学習機会の提供を図る。社会教育委員が主体となり、企画及び運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習のつどい」の開催 書道パフォーマンスをメインとし、書道講座等、体験コーナーを計画し、参加募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止のため成果なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のイベントとの合同開催、開催時期等、イベントの在り方について協議が必要。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況が継続しているため、基調講演等の企画・運営の在り方について、今年度計画案を次年度再度行うのか協議し、状況を踏まえながら判断を行う。 ・今後も生涯学習に役立つ内容の基調講演、体験・紹介コーナーによる生涯学習の周知に取り組む。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 公民館活動の充実	<p>○各自治公民館の活動を基盤とし、地域の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館活動への助成（56 地区） <p>【活動内容】 各種レクリエーション大会、防災訓練、環境美化、その他行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域自治公民館振興事業 申請 1 件 グラウンドゴルフ大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、事業の中止・縮小と計画通り実行できない地区が多くあったが、地域住民が協力し合い、今出来る事を行うことにより、地域の活性化を停滞させないことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、団体活動の実施が困難となっている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域自治公民館振興事業の継続的推進を図るとともに、コロナ禍での状況が継続しているため、可能な範囲で事業を実施していただけるよう、相談・助言等を行い、各自治公民館の自主的活動の更なる充実を図る。
	<p>○活動を通じさらなる連帯感を養い、地域のリーダー育成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化活性化事業の活用 文化団体の新たな活動に対し、いしかわ県民文化振興基金及び町補助金により経済的支援を行うことにより、文化活動の活性化につなげる。 <p>令和 3 年度対象団体（3 団体）</p> <p>①春木獅子舞保存会 春木獅子舞後継者育成事業（中止）</p> <p>②よこぶえ・ほらがい古知今知 石動山法螺貝（講習会事業）（中止）</p> <p>③鶴様道中の宿保存会 鶴様道中伝承活動事業</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴様道中の宿保存会においては、コロナ禍により事業内容の変更を余儀なくされたが、セミナーや講演会により、鶴祭・鶴様道中の歴史的・民俗的研究が進展し、その成果が地域の人々等に伝えられた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、団体活動の実施が困難となっている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわ県民文化振興基金の活用を促し、新規活動の支援を行う。 ・継続事業については、コロナ禍の状況であるため、感染症予防の観点に沿った事業計画の精査・助言を行う。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 公民館活動の充実	<p>○関係団体との連携を密にし、各団体の活性化を図る</p> <p>各種団体への助成</p> <p>①中能登町文化協会 会員相互の学術技芸の習得意欲の向上と、地域社会の文化向上に寄与する。</p> <p>(1)町補助金額 2,750,000円 返還金額 780,000円 事業費 1,970,000円</p> <p>(2)事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の文化だより発刊 ・文化まつりの開催 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・県庁ロビーコンサートへの参加 ・新春文化まつりの開催 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった文化まつりを規模を縮小し1月に開催) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会活動では、コロナ禍により事業の中止もあったが、それぞれの団体が、発表会やボランティア活動等に積極的に参加し、地域文化の向上が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も文化協会員の高齢化が問題になると思われる。文化団体会員の高齢化による、活動の縮小又は休止。また、文化活動の担い手も高齢化している。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の各種団体への加入状況が減少傾向にあるため、広報誌等を活用し入会案内を行い、加入促進を図っていく。 ・令和4年度についてはコロナ禍でも学術技芸を磨きあげていきたいと考えている。
	<p>②中能登町実年会 町実年層の親睦と融和を図りつつ、その教養を高めより良い町づくりの推進に寄与する。</p> <p>(1)町補助金 300,000円 返還金額 0円 事業費 300,000円</p> <p>(2)事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内美化活動の実施 ・「中能登町実年会だより」の発行 ・グラウンドゴルフ大会 ・町長と語る会（書面回答） ・ボウリング大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、活動できる範囲で参加者を集め、町実年層の親睦と融和を図ることができた。 ・実年会だよりの発行により、実年会活動の周知ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実年会として町のために、どのような行動が必要なのか事業内容の見直しが必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度町実年会は、鳥屋地区から3団体、鹿西地区から1団体の計4団体で活動を継続し、今年度中止となった出前講座を実施する予定。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 公民館活動の充実	<p>○関係団体との連携を密にし、各団体の活性化を図る</p> <p>③中能登町青壮年協議会 町内青壮年の親睦、交流を図り、青壮年層の活性化に資することを目的とする。</p> <p>(1)町補助金額 300,000 円 返還金額 273,000 円 事業費 27,000 円</p> <p>(2)事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民地区対抗ソフトボール大会(中止) ・なかのとハロウィン事業(中止) ・なかのとトレジャートレイルランボランティア ・やじきた祭り(中止) ・道の駅 彩効庵おにぎりウィークデー 鹿西高校おにぎり販売(後援) ・町長と語る会(書面回答) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策として、予定していた事業はほとんど中止となった。 ・書面での対応となったが、事業を通じて町行政に対する要望・質問を問いかけることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の募集。 協議会会員は、各地区の青年団・青壮年団であり、未会員地区もある。 ・コロナ禍での事業実施。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の募集については、既存の事業内容を見直し、地区とのコミュニケーションを図れるような事業(地区対抗スポーツ大会等)を中心に実施できないか検討を重ねていく。 ・コロナ禍での事業実施については、他団体の実施状況等を参考にし、感染対策を徹底した上で、開催する方向で進めていく。
	<p>④中能登町子ども会連絡協議会</p> <p>(1)町補助金額 800,000 円 返還金額 380,000 円 事業費 420,000 円</p> <p>(2)事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外活動体験会(中止) ・各地区感染症対策費の助成 ・絵画コンクールの開催 ・秋・冬各種球技大会(中止) (グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会) ・上後山区の「虫おくり」に参加(35名) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、中止となった事業もあったが、子ども会の堅実な活動を支援し、子どもの健全育成に資することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口座管理や文書作成などの会の自立運営が弱いことや、各地区の子ども会の主任育成委員の方で町子ども会への協力する意欲が弱い方がいると全体としての活動ができなくなる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主性の尊重や道徳心の尊重、体力の向上など目的をもって活動していけるよう働きかけたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 公民館活動の充実	<p>○関係団体との連携を密にし、各団体の活性化を図る</p> <p>⑤中能登町女性協議会</p> <p>(1)町補助金額 2,000,000 円 返還金額 837,000 円 事業費 1,163,000 円</p> <p>(2)主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 ・環境施設視察研修（中止） ・体力づくりレクリエーション大会（中止） ・会員旅行（中止） ・町長と語る会（書面回答） ・議会傍聴 ・女性のつどい（中止） ・女性セミナー ・成人式お手伝い（中止） ・リサイクルバザー（中止） ・会報 17 号発刊 ・中能登地区県政会議 ・交通安全マスコット配り ・交通安全母親大会・県婦人意見発表大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度においても支部数が減少している。新型コロナウイルス感染防止のため事業の大半は中止した。数少ない事業であったが行政と連携した取り組みができた。 ・行事等を通して町行政に対する課題や疑問を問いかけることができ、さらに会員同士の絆を深めることができた。 ・支部にて講座を開催した際に、講師謝金の一部を町から助成する制度の活用もある。今後も活用し、支部内での活動もより活発になってほしい。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少に伴い、協議会に参加する会員の減少が目立ち、解散する地区支部の問題が深刻化してきている。 ・支部数を減少させない。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、町女性協議会の継続については、個人会員も視野に入れて検討を重ねていく。 ・女性の活躍は町活性化において欠かせないため、今後も支援を行っていく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 青少年の健全育成	<p>○家庭や学校、地域との連携を密にし、犯罪のない地域社会を創る</p> <p>・巡回補導の実施 夏休み期間の巡回補導の実施。</p> <p>期 日 8月 3、5、10、12、17、19、24、26 日 計 8 回</p> <p>時 間 17：00～18：00</p> <p>参加者 延べ 52 名 (下記協力機関のもと実施した)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町駐在所 ・各学校代表 ・県警委嘱少年補導員 ・七尾鹿島地区高等学校 P T A 校外補導連絡協議会 ・町青少年育成推進指導員 ・町教育委員会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕方の時間に実施したので、子どもたちと会えて、コミュニケーションを図ることができた。 ・学校・地域、関係機関との連携を深めながら、巡回補導を実施し、子どもたちの健全な育成を図ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県警に委嘱を受けた補導員と違い、一定の権限も持たない育成員のような立場としては、警察官が同伴できない日は積極的な補導ができないという実態があった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、パソコンやタブレット、スマートフォンの普及に伴い、屋内に引きこもることが多い中、子どもたちと少しでも会える時間帯の夕方に巡回し、青少年とコミュニケーションをとり、少しでも非行防止に繋がるよう努めていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 青少年の健全育成	<p>○青少年の地域での社会参加を促す</p> <p>①青少年育成推進委員の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立学校への協力。 ・町巡回補導への協力。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は県主催の研修会が一度は延期されたものの開催され、相互の意見交換ができた。また、例年通り関係団体等への協力を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪の時期など、天候や気温が厳しい時は、活動が難しいという実態があった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修会やブロック会議に積極的に参加し、相互の意見・情報交換などを行い、他市町との連携強化を図る。
	<p>②放課後子ども総合プランの推進 放課後子ども教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とりや放課後子ども教室 ・とりや児童館放課後子ども教室 ・かしま放課後子ども教室 ・かしま児童館放課後子ども教室 ・ろくせい放課後子ども教室 ・ろくせい児童館放課後子ども教室 <p>全18回実施、延べ413名参加</p> <p>・主な内容 レクリエーション教室、バルーンアート教室、ハーバリウム教室、クリスマスリース教室他</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや、色々な体験を通し、子どもたちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって取り組むことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容についてはマンネリ化がおこりつつあり、今後は新しい企画も視野に入れ、子どもたちの興味を引くような企画を考える。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で開催回数が減り、各教室3回程度しか開催ができなかったが、関係機関や各教室と相談しながら新たな活動も視野に入れ運営していきたい。 ・子どもたちの意向も聞きながら、楽しい教室になるよう努めていきたい。また、子どもたちの興味を引くような企画を考え、安全・安心な活動ができる放課後の居場所づくりに取り組んでいきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 青少年の健全育成	<p>○青少年の地域での社会参加を促す</p> <p>③成人式の実施 実施日 令和4年1月9日(日) 10:00～ 場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」 参加者 対象者200人、参加者163人</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過により、親族の入場を制限するなど、最小限の内容での開催となったが、感染予防対策を講じながらも事業を実施出来たことで、参加者への祝い、思い出作りの手助けができた。 ・感染予防対策に関する取り組みとしては、体調チェックシートの提出、受付体制・会場内通路の工夫、座席の間隔を空ける、生配信の実施、親睦会の中止等のコロナ対策を講じ安全に開催することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を含めた式典の合理化を検討する必要がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月の民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられるが、令和4年度以降についても、これまで通り20歳を対象とし開催する。 ・事業の名称は「中能登町二十歳(はたち)のつどい」に改め、内容については今後検討していく。
(5) 国際交流事業の推進	<p>○次世代を担う児童生徒の国際的視野を身につけるための国際理解を深める</p> <p>① ジャパンテントへの共催並びに実施 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p> <p>② 21世紀石川少年の翼 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p> <p>③ ジュニアウイングス (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止のため成果なし <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンデミックの影響を強く受ける事業のため、個々の市町の努力ではどうしようもない面がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記事業等を活用し、国際交流及び多文化共生の推進を図っていく。 ・たくさんの生徒に参加してもらえよう、各学校に掲示周知依頼を行う。 ・町内から参加者を募り、国際的視野を身につけ、相互理解を深めよう、協力をしていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 国際交流事業の推進	<p>○持続可能な日本語教室を実施し、外国人と地域住民の多文化共生を図る</p> <p>2019年度 文化庁委託事業 「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業地域日本語教育スタートアッププログラムを終了し、令和2年度から本格稼働となり、2年目の教室を開催した。</p> <p>【名称】 中能登町日本語教室 中能登にほんごひろば「茶の間」 ～しゃべらんかいね～</p> <p>【実施場所】 中能登町生涯学習センター「ラピア鹿島」 町立図書館改修後は町立図書館コミュニティ広場に移転</p> <p>【実施時間数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室 11回 計 16.5時間 ・コアミーティング 11回 計 27.5時間 ・外国人コミュニティリーダー研修 5回 <p>【具体的な実施内容】</p> <p>令和元年度から公設民営方式を採用し、中能登町国際交流の会に事業委託し、日本語教室の運営を行っている。年間21回開催を計画し、日本語クラス、多文化共生クラスの2クラスにより開催した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、教室を一部中止した関係で今年度は11回の開催となった。</p> <p>コアメンバーによるコアミーティングを、新型コロナウイルスの感染が拡大していた5月を除き、毎月実施し、企画立案や教室運営に係る事項について協議してきた。</p> <p>この教室の開催目的である「外国人住民の生活をサポートする」、「外国人住民と地域の人々が楽しく豊かに暮らす」を常に意識して行っている。教室では、地域での生活に必要なルールを学べるほか、日本や中能登町の歴史や文化を知ってもらえることができる。また、地域住民と日本語で会話ができるようになることから、情報交換や交流が図られ、地域参画と共助が生まれるようになり、多文化共生の町づくりの推進が図られる。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の教室に参加した外国人学習者は、延べ51人であった。また、運営スタッフとしては、サポーターが延べ117人、ボランティアサポーターが延べ7人の参加であった。 ・県と共催事業となった外国人コミュニティリーダー研修を開催し、3名のリーダーを育成することができた。また、行政の仕組みや防災、法律などの知識を習得できた。 ・町内各企業や商業施設に開催案内チラシを掲示した。また、町広報誌においても毎月号で開催案内を掲載した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置の発令により、教室の中止が相次いだことから定期的な教室開催が出来なかった。また、不定期開催となり、受講者の参加が減少しないか、懸念される。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登町国際交流の会「多文化共生部会」として継続的な活動を行っていけるよう進める。 ・参加者のほとんどが町内及び近隣の市町にある企業からの技能実習生であり、数年で帰国される方々であるため、在住または永住外国人の参加を増やしていきたい。 ・開催場所である町立図書館の改修も終わり、安定した教室が実施できることから、外国人の交流場所となる拠点として周知していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 図書館の充実	<p>○町民のニーズに配慮し必要な図書、資料を収集し、町民の読書意欲を喚起する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館整備以前は、より多くの図書購入ができるよう3図書館で連携し、重複しないよう購入していた。図書館整備後は町立図書館で一括購入し、各図書室にも配置している。 ・ 利用者の希望の本が町内図書館で蔵書していない場合は、県内図書館や県外図書館からも借り受けることができる相互貸借サービスを行っている。また、利用者からのリクエストも受け付けている。 ・ 季節や旬の話題を取り入れてテーマを決め、展示コーナーを設けることにより、読書意欲を喚起している。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の希望に応じ、リクエストがあった図書はなるべく購入したり、県内外図書館から借り受けたりするよう調整を図った。 ・ 令和3年度における利用者の貸出冊数はコロナ禍及び図書館整備工事により減少となった。 貸出利用冊数(利用人数) 令和3年度 68,015冊(16,700人) 令和2年度 86,655冊(19,624人) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館整備により、3図書館を1図書館2図書室に再編。蔵書量の少ない図書室の利用者が図書館の蔵書をリクエストした際の円滑なサービス提供が課題となる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き利用者のニーズを把握し、利用しやすい図書館・図書室を目指し、町民の読書意欲の増進に努めていく。 ・ 図書購入予算を確保し、県内平均以上となるように努める。
	<p>○図書館講座等を実施し、利用者の増加を図る</p> <p>①図書館ボランティア養成講座（全2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目 令和3年11月26日（金） 「おはなし会に登場する小道具」 ～手袋人形づくり&実演～ ・ 2回目 令和3年12月3日（金） 「子どもたちに届けたい本」 ～学校司書の視点から～ <p>②公開読書会（1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏 令和3年8月6日（金） 「チェリスト」 カズオ・イシグロ/著 ・ 秋 （中止） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座を開催することで、ボランティアの技能の向上につながった。 ・ 公開読書会(夏)の参加者は8名。テキストのテーマに即した図書の展示を行い、本の理解が深まった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナによる影響や周知不足により参加者が少なかった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア養成講座を生かし、図書館ボランティアの活動範囲を広めていきたい。 ・ 読書会の会員以外の公開読書会の参加者が少ないことから、一般の利用者が参加しやすいような周知方法を考えていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 図書館の充実	<p>○図書館司書と連携、協力し図書館の活性化を図る</p> <p>①うちどく推進賞を実施 「うちどくノート」町内小学校全児童に配布し、うちどくノート提出順に学校で表彰を実施。提出後には新たなノートと交換する。 シルバー賞、ゴールド賞は2月に学校で表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うちどく賞」(1冊目達成者) ※ノート1冊の提出に必要な読書冊数 1～4年生 15冊 5～6年生 8冊 ・「シルバー賞」(2冊目達成者) ・「ゴールド賞」(3冊目以上達成者) <div data-bbox="392 891 906 1272" style="text-align: center;"> </div>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度受賞者数 (※カッコ内は前年度) うちどく賞 580人(451人) シルバー賞 181人(146人) ゴールド賞 154人(203人) うちどく賞達成率 70%(53%) <p>町立図書館等が整備工事による休館のため、令和3年度に限り生涯学習施設のほか、小学校でも交換を実施したことや、受賞者が少なかった小学校でも取り組みを強化したことで、前年度に比べうちどく賞の受賞者数が増加した。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町立図書館整備工事が完了し、ノートの交換が町立図書館、図書室のみとなることで児童の利便性が低下する可能性がある。 ・「家族からのひとこと」の項目が未記入など、本来の目的である家族間のコミュニケーションを促せていない。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の年長児にうちどくの推進をしていきたい。 ・小、中学校と連携をとり読書の習慣化を図っていきたい。 ・家庭でのルールを作り、家族と一緒に本についてコミュニケーションをとってもらえるような魅力ある事業を引き続き実施していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 図書館の充実	<p>○図書館司書と連携、協力し図書館の活性化を図る</p> <p>②学校図書館担当者との連絡打合せ会の実施</p> <p>(1)実施日 令和3年4月27日(火)</p> <p>(2)参加者 学校図書担当教諭、学校図書館司書、町立図書館職員・司書</p> <p>(3)内 容 町図書館の小中学生対象事業について各校の読書指導計画について うちどくノートについて 図書館整備工事について</p> <p>③ブックスタート事業</p> <p>乳幼児から絵本に慣れ親しんでもらうため、町内に生まれたすべての赤ちゃんを対象に絵本を手渡し、ボランティアと職員が読み聞かせ等を行うブックスタート事業を実施</p> <p>(1)対象児 7カ月の乳児(令和3年度98人)</p> <p>(2)実施日 保健センターでの7カ月児健診時</p> <p>(3)内 容 2冊の絵本を贈呈 (20種類の本から2冊を選ぶ)</p> <p>(4)実 績 57組(114冊贈呈)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の取り組み及び町立図書館整備について情報共有ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の読書推進に向けて、学校と町立図書館が連携して取り組む必要がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館司書及び学校図書担当教諭との連携を強化し、児童生徒の学校図書館、町立図書館の利用推進を図る。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響により、保健センターでの検診時に読み聞かせを行うことができず、ラピア鹿島で7ヵ月～12ヵ月の乳児を対象に、本のプレゼントを行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響により、保健センターでの検診時に読み聞かせを行うことができず、希望者に来館していただかなければならないため、全対象児に贈呈できていない。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の整備後は、新型コロナの状況を考慮しながら、ボランティア活動として図書館でブックスタートを開催し、来館を促していく。 幼児期から図書と慣れ親しむことが大切であることから今後も引き続き事業を実施し、本の楽しさを知ってもらおう。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 図書館の充実	<p>○図書館司書と連携、協力し図書館の活性化を図る</p> <p>④図書館講座や行事を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学散歩（中止） ・文学講座 ・図書館まつり（中止） ・図書館講座 ・絵本の中の料理教室（中止） ・子ども映画上映会（中止） ・クリスマスおはなし会（中止） ・ぬいぐるみおとまり会（中止） ・ちいさなおはなし会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止した講座や行事がたくさんあったが、コロナ感染予防を徹底し行うことで、図書への関心が高められた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響下における事業実施の方法を検討する。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書との関わりを広く持ってもらえるような講座や行事を実施していく。 ・参加者が増加するよう、広報やPRに努める。
	<p>⑤おはなし会の実施</p> <p>おはなし会ボランティアによるおはなし会を各図書館にて定期的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創修館 ピノキオさんのおはなし会（第2土曜日） 3回 20人 ・中能登町立図書館 English STORYTIME ～英語で絵本を楽しく読もう！～（第4土曜日） 4回 38人 ・カルチャーセンター飛翔 ボランティアーズ（第1土曜日） 4回 57人 ちいさなおはなし会（毎週木曜日） 17回 168人 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を行うことで児童の絵本への関心、地域の方が実施することで、地域とのふれあいの場に繋がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館整備工事及び新型コロナの影響により開催回数が減少した。今後も新型コロナの影響により、開催回数の減少する可能性がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備後の町立図書館でコロナ対策をしたうえで、実施できるよう努める。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(6) 図書館の充実</p>	<p>○図書館を集約し、町民に親しまれる図書館整備を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合図書館と2つの図書室 統合図書館の整備後、規模を拡大した町立図書館において、各種サービスを提供するとともに、図書の充実を図る。また、ふるさと創修館図書室とカルチャーセンター飛翔図書室については、従来からの利用実態を考慮し、平日は午後のみ運営とし、貸し出しや予約などのサービスは継続している。 ・サービスの強化 町立図書館では、学習スペースや郷土資料室の設置、レファレンス機能の強化により、新たな学びの環境を提供している。おはなし会や読み聞かせができるコミュニティ広場や、くつろげる談話コーナーを新設した。また、児童コーナーの拡充、おむつ交換室や授乳室の新設により子育てに配慮し、公衆無線LANの構築により電子機器を活用した情報収集ができる施設整備を実施した。 ・利用者の利便性を高める。 重複しないよう図書を購入しているが、どの図書館・図書室でもその図書を借りることができるよう予約を受け付けている。また、町内の図書館・図書室で借りたものは、借りた図書館・図書室でなくても返却できるようにしている。 <div data-bbox="413 1621 892 1977" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">中能登図書館 児童・絵本コーナー</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合整備後は、比較可能な2年前に比べ、月毎の利用者数、貸出冊数ともに増加している。 ・図書の予約受付をすることで、利用者が足を運びやすい図書館で貸出しをすることができ、利用者の負担軽減となっている。 ・平日は毎日図書を運搬することで利用者に早く予約本を貸出できるよう努めている。 ・児童コーナーの拡充に伴い、家族連れの来館が目立つようになっていく。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館整備事業は令和3年度で完了。整備にあたり図書館及び図書室に運営体制を変更したが、利用実態を精査し、より効率的な運営に向けて検証を行う。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能を1館に集約した体制となるが、ソフト面での充実を図り、利用者が満足できる内容としたい。 ・図書の貸出しだけでなく、図書館・図書室で新たな事業を展開することで、利用者（子どもからお年寄りまで）の増加を図りたい。 ・これまで図書館を利用したことがない町民に対してのPRも行っていきたい。

6 生涯スポーツの振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) ジュニアスポーツクラブの充実	<p>○ジュニアスポーツクラブの活動を支援し、子どもたちの心身を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアスポーツ教室の開催 20 教室を実施し、各教室年間 75 日から 294 日にかけて活動を行った。各教室には育成費や大会派遣費を補助し、その活動を支援している。 (1) 鹿西剣道教室 (2) 鹿島少年剣道教室 (3) 中能登柔道教室 (4) 少林寺拳法 (5) とりやアスリートクラブ (6) 中能登ジュニア体操クラブ (7) 中能登 F C (サッカー) (8) 中能登ジュニアトランポリンクラブ (9) 中能登フェニックス (ミニバス男子) (10) 中能登ミニバスケットボールクラブ (女子) (11) 中能登クラブ (学童野球) (12) 中能登卓球スポーツ少年団 (13) とりやソフトテニスクラブ (14) バドミントんクラブかしま (15) バレーボール女子 (16) 極真 中能登カラテ (17) なかのと織姫ソフトボールクラブ (18) ジュニア空手道教室 (19) 武道教室 山口道場 (20) 鹿島 A C 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ禍での活動は難しかったが、各教室で新型コロナウイルス感染症対策を行いながら大会等にも参加することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化の中、ジュニアスポーツに加入する子どもも減少してきているので、今後どう加入者を増やしていくかが課題となる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年 4 月に募集チラシを配布しており、今後も多くの児童に加入を勧めていく。
	<p>○ジュニアスポーツクラブ指導者育成派遣を行い、指導者の資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者としての資質向上のため、資格取得や各種講習会への参加について派遣補助を行う。 ・なかのとスポーツ指導者講習会を開催。 (参加者 12 人) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、体育協会との協力もあり、指導者講習会を 3 月に開催し、指導者の資質の向上に寄与できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資質の高い指導者の育成を図るとともに加盟団体と連携・協力して、指導者育成事業を推進していく必要がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法のあり方も難しくなっているため、一人でも多くの指導者の養成のため、講習会等への受講を広く呼び掛けていく

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) スポーツの振興	<p>○スポーツ推進委員や体育協会と連携を図り、地域スポーツの推進を図る</p> <p>①中能登町体育協会 24 競技団体に指導及び各種補助を行い、ジュニアから一般世代までの競技力向上を目指している。</p> <p>②石川県民体育大会 冬季大会 1 団体参加（夏季大会は、中止）</p> <p>③中能登町スポーツ推進委員会 15 名で組織され、各小学校の P T C A 活動やスポーツ活動、町スポレク祭（ニュースポーツ体験会）の企画運営、北陸地区・県・中能登地区の研修会に参加した。</p> <p>④中能登町スポレク祭 新型コロナウイルス感染症の影響で中止</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季県民体育大会は 2 年連続で中止、冬季県民体育大会では、1 団体に補助し、その競技の活性化が図られた。 ・小学校の P T C A 活動では、1 校でドッジビーのニュースポーツ普及に尽力した。 ・町スポレク祭は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって開催中止となり、実績なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員は、子どもたちから高齢者までがスポーツ活動に親しみを持って取り組むことができるよう、更なる各種スポーツ教室等への協力を行い、また、町民と行政とのコーディネーター（連絡調整役）として活躍していくことも課題である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会においては、より一層の競技力の向上を目指し、チャンピオンスポーツとして、更なる好成績を目指すべく、選手育成に努めるよう指導していきたい。
	<p>○ニュースポーツ等の普及促進に努め、町民の体づくりの推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員が普及を目指す、カローリングやキンボールの他、町民の体力テストを実施する。 （新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、実績なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも、より多くの人々がスポーツの楽しさや感動を分かち互いに支え合う「新たなスポーツ文化」の確立を目指していくことが課題であると考えます。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員には、今後も多くの方にニュースポーツの紹介や体験会を開催するよう指導していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) スポーツの振興	<p>○各種大会を支援し、競技スポーツの活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会の9団体が町民大会を開催した。 <p>【実施9種目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第17回町民野球大会 第16回町民ゴルフ大会 第17回町民ソフトテニス大会 第13回町民パークゴルフ大会 第17回町民グラウンドゴルフ大会 第16回町民ソフトボール大会 第17回町民バドミントンダブルス大会 第17回町民卓球大会 第16回町民剣道大会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種大会の開催支援 <p>【開催3競技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第29回石川県ソフトテニス中能登町大会 第55回全能登少年剣道・中学校新人剣道大会 第34回能登地区ジュニア体操競技大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民大会は、コロナ禍での開催となったが、9団体に補助し、その競技の活性化が図られた。また、誘致大会では、3競技が町外から選手を集め、大会を開催し、その競技力の強化が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化に伴う、競技人口の確保や大会運営の継続が課題となる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き各種大会運営等を支援し、補助金を交付するなど、競技スポーツの活性化を図る。
(3) スポーツ施設の整備・充実	<p>○地域のスポーツ環境整備の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿西体育館駐車場整備事業、鹿西体育館外構修繕工事、鹿西武道館和室修繕工事の実施。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の整備工事や修繕工事を行うことにより、安全で適正な施設の管理運営ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修や修繕が必要な老朽化施設が増加してきている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民のスポーツ活動のための最も身近な施設である地域の体育館やグラウンド等のスポーツ施設の整備・改修を計画的に実施する。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) スポーツ施設の整備・充実	<p>○生涯スポーツ・競技スポーツ・学校体育との連携を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の協力を得て小学校へ出向きPTCA活動を実施した。また、学校との連携もニュースポーツの紹介をしていきながら活動した。(1校) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思ったような活動ができなかったが、小学校1校で実施することができ、ニュースポーツの普及が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老若男女の幅広い年代層を対象に、普及を図ることが課題と考える。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに加えて、誰もが気軽に行える、さまざまなニュースポーツも提供できるようにしていきたい。
	<p>○施設の統廃合を含む効率的な管理運営を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿島運動場は長年使用実績もないため、個別整備計画に基づき廃止とした。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、効率的な管理運営を図るとともに、安全で持続的な体育施設等のサービスを維持することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康を増進する観点から、適正な受益者負担の下に、適正な施設・設備等の機能を維持しつつ、他施設との統廃合等も含め、民間活力の導入等が課題と考える。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的かつ効果的な管理運営やサービスの拡充、更には費用抑制及び安全性の確保を図っていく。 ・老朽化の施設も多くなっており、改修または廃止する施設を明確化する必要があるため、個別整備計画に基づき、改修並びに統廃合について検討していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 指導者の養成と選手の育成	<p>○体育協会と連携し、指導者の指導力向上及び、選手の育成に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかのとスポーツ指導者講習会を開催。体育協会やジュニアスポーツクラブの指導者等、中学校にも呼びかけをし、なかのとスポーツ指導講習会を開催した。(12人参加) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、3月にスポーツ指導者講習会を開催し、指導者への指導力の向上に寄与できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、中学校の部活動がクラブ化となるため、体育協会を含めた受け入れ団体の確保及び指導者の育成が急務になると考える。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会と連携し、指導者に積極的に講習会等の参加を呼びかけ、更なる選手の育成に努めるよう働きかけていきたい。
	<p>○全国大会等に出場する選手の支援を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア全国大会 (3競技 7名出場) <ul style="list-style-type: none"> 中能登ジュニア体操クラブ 2名 中能登武道館(少年剣道) 2名 U-15バスケットボール女子 3名 ・全国高校総体 (8競技 18名出場) <ul style="list-style-type: none"> ヨット5名、柔道5名、剣道2名、なぎなた2名、体操1名、バドミントン1名、ソフトテニス1名、ウエイトリフティング1名 ・ジュニアの全国大会出場者や全国高校総体出場者等に激励費の交付や大会参加のための交通費や宿泊費等の補助を行った。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で全国大会等が中止になるなど、大会が減少したが、各競技の指導強化により、ジュニアにおいては、3競技を全国大会に派遣し、全国高校総体においても18人の選手を輩出することができた ・高校総体に出場する選手の懸垂幕を掲揚し、地域住民に周知できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も少子化の影響により競技人口も少なくなることが予想されるが、継続的に全国大会等に出場できる選手を育てられるかが課題となる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場には交通費、宿泊費など多額の費用が必要なため、町からの補助金は継続し、今後も参加選手を支援していく。

※注釈

- ※1 **OJT=On the Job Training**
職場での実践を通じて業務知識を身につける育成手法のこと。
- ※2 **ICT=Information and Communication Technology**
(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略称
日本では既に一般的となったIT(情報技術)の概念をさらに一歩進め、ITに通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。国際的にはICTという呼称の方が一般的。
- ※3 **GIGAスクール構想**
2019年に開始された、全国の児童・生徒1人に1台のコンピューターと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み。
- ※4 **ALT=Assistant Language Teacher**
(アシスタント・ランゲージ・ティーチャーの略称)
英語教科において日本人の教員を補佐し、生きた英語を児童生徒学生に伝える英語を母国語とする外国人の教員を指す。
- ※5 **GTEC junior**
小学校・中学校の英語の授業で学んだ内容を通して、4技能の英語力がどれくらい身についているかについて、タブレットを用いて楽しく測れるテストです。
- ※6 **GTEC=Global Test of English Communication**
(グローバル・テスト・オブ・イングリッシュ・コミュニケーションの略称)
ベネッセコーポレーションが主催している、グローバル人材に必要な英語力を測定する検定試験。「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語習得における4技能を測るテストです。
- ※7 **どぶろく**
どぶろくとは、日本の伝統的な酒のうち、米と米麴と水を原料として発酵させただけで漉す工程を経ていない酒です。
中能登町では、平成26年11月28日付けで内閣総理大臣から「どぶろく特区」の認定を受け、町内全域の農家民宿や農家レストランなどを含む農業者による「どぶろく」製造が可能となりました。全国でどぶろくの醸造が認められている神社が約30箇所あり、そのうち3神社(能登國二ノ宮天日陰比咩神社、能登部神社、能登比咩神社)が中能登町にあります。
- ※8 **能登上布**
約2000年前に崇神天皇(すじんてんのう)の皇女が現在の中能登町能登部下に滞在した際、この地に機織りを教えたことが始まりと伝えられ、昭和35年に石川県無形文化財に指定。
「能登上布」は麻独特の通気性の良さや軽さに加え、サラリとした肌触りがあり、細やかな縞(かすり)模様が特徴です。
- ※9 **QUアンケート=Questionnaire Utilities**
学級診断尺度調査
- ※10 **SSW=School Social Worker**(スクール・ソーシャル・ワーカーの略称)
非行、登校拒否などの問題に直面する児童生徒たちを学校と家庭とのパイプ役となって支援する専門家。

※11 **Jアラート**

ミサイル発射や津波、地震などの緊急情報を日本政府が発すると、人工衛星や地上回線を通じて全国の市町村の防災行政無線を自動的に起動し、屋外スピーカーや屋内受信機、メールで知らせるシステム。

※12 **P T C A=Parent (親) Teacher (先生) Community (地域) Association (会) の略称**

P T Aに地域住民が加わった「親と教師と地域住民の会」。地域住民が、学校教育に外側からの支援をするだけでなく、地域の子どもたちは地域で育てるという「共育」の気持ちを大切にします。学校・家庭・地域社会の三者が、子どもの教育について緊密に連携した組織がP T C Aです。

※13 **ピアサポート**

同じような立場の人によるサポート

II 教育委員の主な活動

(自粛) 会議や行事等は実施されたが、新型コロナウイルス感染症対策のため教育委員活動を自粛
 (中止) 新型コロナウイルス感染症対策のため会議や行事等が中止

時期	各種会議・関係行事等	開催場所
令和3年 4月	異動教職員辞令伝達式 町立小中学校入学式 (自粛) 県立鹿西高等学校入学式 石川縣市町教委連第1回理事会 石川縣市町教育長会議	ラピア鹿島 小学校3校、中学校1校 鹿西高等学校 金沢市役所 石川県庁
5月	(自粛) 第1回教育委員代表者会議 石川県教育委員会連合会定期総会 (中止) 町PTA連合会定期総会 (中止) 全国町村教育長会総会・研究大会	金沢市教育プラザ富樫 金沢市教育プラザ富樫 — 東京都
6月	(中止) 石川県町教育長研修会 (中止) 町立小学校音楽会	中能登町 ラピア鹿島
7月	石川縣市町教委連第2回理事会 (自粛) 県中学校体育大会応援 (中止) 小学校水泳交歓会 県市町教育委員会セミナー	金沢市役所 県内各会場 鳥屋学園プール KKRホテル金沢
8月	(中止) 町戦没者慰霊式 (中止) 石川県民体育大会応援 (紙面) 町PTA連合会と教育委員会との懇談会 (Zoom) 東海北陸地区町村教育長研究協議会	ラピア鹿島 各会場 — 岐阜県
9月	(中止) 町立小学校器械運動交歓会 第2回教育委員代表者会議	鳥屋小学校 KKRホテル金沢
10月	小中学校計画訪問A 石川縣市町教育委員会連合会研究大会 (中止) 町PTA連合会研究大会 (自粛) 町立小学校運動会・スポーツ集会 (自粛) 中能登中学校学校祭	各小中学校 野々市市 ラピア鹿島 小学校3校 中能登中学校
11月	(中止) 紀宝町教育委員会交流 石川縣市町教委連第3回理事会 石川縣市町教育長会教育長研修会 教育委員視察研修・意見交換会 (自粛) 中能登しごと館	— KKRホテル金沢 KKRホテル金沢 鹿島小学校 中能登中学校
12月	総合教育会議	中能登町役場 総務庁舎
令和4年 1月	中能登町成人式 小中学校計画訪問C	ラピア鹿島 各小中学校
2月	中能登中学校立志式 (中止) 生涯学習のつどい	ラピア鹿島 ラピア鹿島
3月	町立小中学校卒業証書授与	小学校3校、中学校1校

時期	各種会議・関係行事等	開催場所
通年	教育委員会定例会（年間12回） 中能登町議会定例会議等及び各常任委員会 その他関係方面からの会議	ラピア鹿島 中能登町議会議場及び会議室

Ⅲ 令和3年度決算（教育委員会）の概要

1 目的別内訳

（単位：千円）

区 分	令和3年度		令和2年度		前年度比 増減額 ③ (①-②)	伸び率 ③/②×100
	決算額 ①	構成比 %	決算額 ②	構成比 %		
教 育 総 務 費	227,444	22.41	434,187	37.09	▲ 206,743	▲ 47.62
小 学 校 費	79,510	7.83	121,379	10.37	▲ 41,869	▲ 34.49
中 学 校 費	54,673	5.39	45,661	3.90	9,012	19.74
社 会 教 育 費	317,131	31.24	293,600	25.08	23,531	8.01
保 健 体 育 費	336,284	33.13	275,918	23.57	60,366	21.88
うち体育施設費等	122,981	12.12	78,706	6.72	44,275	56.25
うち学校給食費	213,303	21.01	197,212	16.85	16,091	8.16
計	1,015,042	100.00	1,170,745	100.00	▲ 155,703	▲ 13.30